



ぶよぶよ2012～2015

kame-story,
drapom's drama

横えび

2010年11月21日、京都大学学術情報メディアセンター。

この日、同建物の地下フロアで開催された京大文化祭ぷよぷよ通大会にて拙作こと“ぷよらーインタビュー集”を配信するよう指令を受けていた私は、最後列に設置された特別席にてNF大会の熱気に触れることとなった。100名以上の出場者の中で優勝を争ったのは“なごやんぷよの会”の両新星こと、ぐっくる&d r a p o m。メガドライブのパッドを变幻自在に操る彼らをぼんやり眺めていた私は、「おおおオソルベシ、名古屋の十代！！」と震え上がるばかり。三十路の台大へ到達していた私が、後に彼らと何度も戦うハメになるとは想像もしなかった。

1年半後、京都府四条河原町。

ゲームセンター“a - c h o”で開催されたぷよぷよ通大会に初出場ながら準決勝（勝者組決勝）へ進出した私は、15歳年下のd r a p o m選手の老獪な試合運びの前に崖っぷちに立たされていた。中盤戦拒否の横えびスタイルは悉く察知され、重ね合わされ、刈り取られ、白星を献上し続けた。北陸地方からの出場は私のみ、実況あり録画ありの特殊環境、5本先取で出だし1-4と絶望的な状況に追い込まれたのである。

「やはり中盤戦のセンスは、d r a p o mくんに分があるか？！」

あまりの我が拙戦に呆れたのだろう。観戦していた誰かが、「負けても、敗者戦で復活できるんだから」と声をかけてくれた。パニックっていた私はすっかり忘れていたのだが、a - c h o大会は2敗失格ルール。勝者組に残っていた私は、ここで負けてもルーザーズ決勝に回されるだけで優勝の目はまだ残っていた。もっと言えば、敗者組でも負けたとしても同大会の3位以上は確定していたのである。関西最大のアーケードぷよ通大会に初出場で3位入賞、これだけでも十分な成果ではないか。思わぬ助け舟を出された私は、少しだけ気が楽になった。

そこから先のことは、自分でもよく覚えていない。後のS級ぷよらー&全一スコアラーにまさかの逆4タテを果たした私は敗者組決勝を勝ち上がってきたd r a p o mくんとのリターンマッチも制し奇跡の全勝優勝、a - c h o大会の最年長優勝記録を大幅に更新した。自分で書くのは妙かもしれないが、18年の歴史を誇る同大会でも前代未聞の珍記録ではないか、と思う。

「というわけで、2012年6月3日a - c h oぷよぷよ通大会は元関東勢、現石川勢の横えびさんの優勝となります。おめでとうございます！」

本書は、現役最古参ぷよらーによる七転八倒の懺悔録です。ごゆっくりお楽しみください。

- 01. 序文 35歳はあきらめない
- 02. momoken被害者の会
- 03. 聖地のいちばん長い日
- 04. 敗北の味
- 05. パズルゲームは苦手？
- 06. ヘルシング風にぷよぷよを語る。（前編）
- 07. ぷよらーはバーにいる
- 08. ぷよらーインタビュー第6回（前編）
- 09. くじ引きと同士討ち
- 10. セルバ杯狂騒曲
- 11. 河口俊彦風にスコアアタックを語る。
- 12. ENQUETE NETWORK
- 13. アカデミック・シーズン
- 14. 12年と21年と村の旦那と
- 15. ぷよらーインタビュー第6回（中編）
- 16. 進撃のアラフォー
- 17. ヘルシング風にぷよぷよを語る。（後編）
- 18. ノー・サンプリング
- 19. 辛口必勝法
- 20. ぷよらーインタビュー第6回（後編）
- 21. 基板の値段
- 22. あとがき BOX Q2杯ファイナル
- 23. ぷよぷ用語集
- 24. キャスト

2012年2月5日。

この日は秋葉原UDX、アキバスクウェアにて開催されたセガ公式大会を観戦する機会に恵まれた。「恵まれた」と書いたのには理由がある。前年夏のアキバ新セガ大会（アーケード版ぷよ通ルール）と異なり私はセガぷよは専門外で、また声優ショーやニコニコ公式生放送も行われたこともあり、会場は大混雑に見舞われていた。そのため、同イベント昼の部は私が入場できた最後尾中の最後尾だったのである。

ギリギリで入場できたのはもしかしたら自分の顔を知っているセガ社員さんが気を利かせてくれたのかもしれないが、おそらくたまたまであろう。私より少し後から来たぷよ通ガチ勢、H I R O・m o m o k e n・t o mといった面々は誰も中に入れなかった。もっとも寒い時期にガラス越し観戦を強いられたのは、少々気の毒であった。

ぷよぷよフィーバーシングル部門はアキバ勢の時斗くんが、ぷよぷよ20thペア部門はS A N A & くまちょむ（服部）のなごやんペアがそれぞれ優勝。ペア部門は対戦バランスの問題で時間切れじゃんけん決着が発生する可能性もあったが、全試合一本勝ちとなったのは僥倖だった。

（試合開始から5分以上経ったら、ボンバーマン方式で徐々にフィールドを狭めていってしまえば盛り上がるのではないかと思うのだが、どうだろう？）

大会終了後は秋葉原H e y に流れ、ぷよ通対戦台でガチ勢と対戦・・・と思っていたら私の20分くらい後にm o m o k e n 一行が来店。勝てるとは思っていなかったが対戦では6戦全敗、のみならず連戦後は前年9月に私が4年ぶりに出した100万を1コイン目であっさりお抜きになりやがり、対戦&スコアで往復ビンタを喫してしまった。（ムキー！！）相手はS級リーグ覇者だし仕方ないと言ってしまうとそれまでだが、点数もさることながらブロック数で大差を付けられたのは、スコアアタックに従事している身としてはなかなかにつらいものがあった。

対戦終了後は、ご一行とアキバヨドバシ8階の神田グリルにて夕食。“ぷよぷよは、パーティゲームに特化するには速すぎる”というおはなしが出たのだが、読者の皆さまはどう思われるか。

食後は上野下宿へ直帰しようと思っていたらm o m o k e n くん、おっと失礼m o m o k e n 帝王から「服部さんの“ぷよぷよ通を学ぶための本”を買いたいので、秋葉原に詳しい横えびさんが案内してください」とご要望があり（詳しくないわ！）、予定を変更し秋葉原とらのあな4階の同人フロアへ。私は正月にここでくまちょむ書籍を入手したのだが、配置替えでもしたのか探せど探せど見つからず、結構焦る。こういう店（失礼）で知らない人と話すのは未知の体験だったのだが、多少恥ずかしくてもそんなことは言っていられない。店員さんに不審者丸出しの口調で「あああの、ぷぷぷぷよぷよ通をままするための本ってまだ残っていますでしょうか」と尋ねたのだが、「貴殿の目の前に平積みしてますよぷよら一なの凝視もようでけんのかこの老いぼれ（※文意を損なわず、表現を若干変えています）」と発火催促を直撃されグウの音も出ず。二

重三重の意味で、恥ずかしい思いをさせられてしまった。トホホである。



ご存知の方もおられると思うが、翌2013年に開催されたセガ公式ニコニコ生放送の“ぷよじかんテレビ24連勝するまで帰れません企画”にて、セガドリームチーム23連勝直後にmomoken選手が乱入。ドリームチームのひとりだったkamestry選手を撃破し、番組進行をぶち壊すという最高の仕事をやってのけた。S級リーグでは全勝で三連覇を達成し、現在は“eSports Runner”ぷよぷよ通部門にて指導者的任務に従事している。格付け争いからは離脱したとはいえ現在も最強の名を欲しいままにしており、当分の間はmomoken一強時代が続くことになりそうだ。

（ここから先は余談）

同イベント2週間後に私は石川県への異動を言い渡され、24年ぶりに北陸勢となることが決まったのでございます。20年以上関東の外に転居したことがなく、また、下宿が金沢や扇ヶ丘から50キロ以上離れていると知った時は膝から崩れ落ちそうになりました。このあたりにつきましては、ぷよらーインタビュー集の末尾をご参照いただければ幸いです。

あなたが秋葉原へ遊びに行く際は、秋葉原A-Buttonと秋葉原Heyに是非お立ち寄りください。残念ながら同店のぷよ通は対戦台ではなくなりましたが、セガ公式大会から3年以上経った現在も、秋葉原Heyぷよぷよ通ランキングには当時叩きだしたmomoken横えびのスコアが残っているはずでございます。

1992年5月某日。ゲーセン通いに目覚めた15歳の横えび少年は、塾へ通うフリをしつつ悪友たちと横浜西口五番街のセブンアイランドに入り浸り始めた。

その4年後の5月21日にアイランドぷよ通を対戦台に昇格させ、更に16年後の5月27日——敬愛してやまないZARD坂井泉水さんの命日——に同店の閉店に立ち会うこととなった。閉店したこと自体はもちろん無念であるが、90年代から断続的に見舞われてきた各種ハプニング、すなわち火事及び水没騒ぎ、給与遅配及び集団解雇、ゲーセンブーム終焉、親会社倒産、消費税増税などなどに苛まれつつ、横浜西口の一等地である店舗形態をよくぞ20年続けてくれた、というのが正直なところだ。

少し筆の重い話になるが、私はある時期を境にセブンアイランドへ通うことをやめていた。その後発生したアイランドぷよ通の、そしてセブンアイランド自体の苦境を知らないわけではなかったが、私は目を背け続けた。

閉店告知は、5月20日の扇ヶ丘レジャーセンター対戦会の最中にツイッターで知った。その時は、「（やはり避けられなかったか）」という感慨と「（もっとアイランドへ足を運んでおけば）」との想いとが絡み合い、少々複雑な気分であった。

閉店前日の5月26日は、IPS（石川をぷよぷよで染める会）会合に出席。17時ごろにズバ邸宅を辞し金沢駅からはくたか号で越後湯沢へ、越後湯沢から上越新幹線に乗り換え都内某所で徹夜待機。寝坊の危険が高いため実家には立ち寄らず、午前8時の開店一番乗りを果たした。

（開店時刻が1時間早まっていたのは知らなかった。登校中の学生や出勤前のサラリーマンからの要望でもあったのだろうか？）

五番街界隈を歩くこと自体が久々で、新規出店した各種商店の数々と、改築もままならず90年代の色合いを残したままの遊戯店たちのコントラストは、なんとも言い難い風情があった。パラダイスアレイ・ラスベガス・アメリカングラフティ・タクトランド・スーパーシティといったかつての五番街ゲーセンは既になく、アーケード業界の苦境を感じずにはいられなかった。

最終日ということもあり、この日は新旧アイランドゲーマーの来店が多数あった。各地の現役ぷよ勢はもちろんのこと、初期アイランドぷよラーの方々も来店され、10年以上ぶりの再会となった方も何人かいた。また、この日はセブンアイランド閉店PVの収録があり、アイランドぷよ通の主要メンバー（横えび・ミスケン・HIRO・ALF）のひとりとしてコメントさせていただく機会に恵まれた。全員顔出し収録のためネット上では公開されていないが、4人の中に選ばれたこと、思いの丈を語れたのは光栄であった。

翌日は出勤だったため24時の閉店、伝説の終焉に居合わせることはできなかった。皆が最後の対戦に興じる中、17時ごろに後ろ髪を引かれつつ横浜脱出。越後湯沢ルートの終電は逃して

いたため新横浜から東海道新幹線で米原へ、米原からしらさぎ号最終便にて下宿へ帰還した。

後日、限定公開された閉店PVにてぷよ通筐体の電源が落とされた瞬間やセブンアイランドがシャッターを下ろす瞬間を見たが、日付が変わる前後にもかかわらず100名近い方たちの拍手と笑顔に包まれており、これだけでも救われた気分になった。



その後の横浜勢はサントロペ伊勢佐木町、そして新川崎マットマウスに本拠地を移し、アイランド時代以上の賑わいを見せている。石川勢になって久しくしょっちゅう通うわけにはいかないが、なんと言っても我が地元。時間と気力の許す限り、今後も少しずつ恩返ししていきたい。

(ここから先は余談)

セブンアイランドの建物は、閉店後もしばらくはそのままの状態に残ってありました。遠目には往時と同じ外観だったため営業していないことに気付かず、開かないシャッターでアイランド閉店を悟り愕然とした方が続出したそうでございます。

閉店2年半後の2014年秋にようやく建物の取り壊しが始まり、地上部分はもちろん地下フロアも根こそぎ取り払われたのは、元常連のひとりとしては感慨深いものがございました。閉店からはや3年が経ちましたが、現在もセブンアイランド跡地は文字どおりポッカリ穴が開いた状態が続いております。いつまでこの状態が続くのか想像もつきませんが、興味のある方は一度でも聖地の残滓を見に行っていたいただければと願ってやみません。

なお、セブンアイランドの元運営会社は横浜駅周辺や静岡県を中心に遊戯場を多数運営しておりました。それらのひとつに静岡県浜松市の“サンセイブ城北店”があり、同店では現在もぷよ通対戦台が稼働中でございます。

解体工事のお知らせ

この建築物等を、下記のとおり解体します。

敷地の所在地	横浜市西区南幸 1-5-29 (旧セブンスアイランド)			
解体建築物等の概要	建築物等の床面積の合計		620㎡	
	地上	4階	地下	1階
事業主 (工事発注者)	住所 横浜市中区伊勢佐木町 3-98			
	氏名	株式会社 明商		
石綿(吹き付け・保温材)の使用状況	無			
	飛散防止対策			
工期	平成26年		7月	2日から
	平成26年		9月	30日まで
標識設置年月日	平成26年		7月	2日

上記解体工事計画についてのお問合せは、
下記にお願いします。

住所	横浜市神奈川区鶴屋町 2-9-22
会社名	株式会社 和興
責任者氏名	桧原 光
連絡先	045-290-6606

この標識は、世田谷区建築物等の解体工事等の事前周知に関する
指導要綱第5条第1項の規定により設置したものです。

※1 大きさは、A3判以上とする。

※2 期間中に不鮮明にならない方法で記入する。

※3 風雨等により破損又は倒壊しない方法で設置する。

負けた！

2012年7月15日。新潟駅から徒歩10分のゲームセンターこと“チャンス笹口”にて開催された第2回ぷよ通フェスタ予選リーグ2回戦で、現首都圏勢のp l u c k選手に0-3のストレート負け。大会連勝記録を22でストップさせたと共に、リーグ予選敗退により連覇記録も途絶えてしまった。それまでが出来すぎだったと言ってしまえばそのとおりであるが、最後はけっこう呆気ないものだった。

笹口大会は、個人的にどうしても勝ちたい事情があった。何故なら25年ほど昔、すなわち小学生時代の横えび少年は新潟市民、と言うより笹口住民だったからだ。具体的に書くと、チャンス笹口（南笹口2丁目）から目と鼻の先にある笹口グリーンハイツ（南笹口1丁目）8階に、小学4年の4月から6年の8月まで住んでいた。平日や土曜日朝はチャンス笹口の前を通り過ぎ、笹口小学校（笹口2丁目）へ毎日通っていたのである。

かつての新潟ぷよ対戦会は、新潟市江南区の“新潟P O P Y”というゲームセンターにて実施されていた。2012年2月には同店初のぷよ通大会（ぷよ通フェスタ）も開催されたのだが、新潟P O P Yは大会開催わずか2日後（！）に閉店。その後新潟勢の尽力により、チャンス笹口に本拠を移転したのである。笹口の二文字を久々に見た時は我が目を疑いそうになったが、事情を知った後はこれはなんとしても出場しなければ、優勝して第二の故郷に錦を飾らねばと強く念ずるようになった。

にもかかわらず負けた。この日はI P S対戦会を私のみ午前中で切り上げ、昼食後ズバ邸を離脱し金沢駅から特急北越号で単身新潟へ向かったのに、である。油断していたつもりはないのだが、土地勘があるとはいえアウエー店舗大会に開始直前のぶっつけ本番で行くあたり、やはりどこか甘く見ていたのだろう。

大会の負けは、いつもの負けとは違う。頭の中では分かっていたつもりだが、それまで実力以上に勝ち過ぎていたせいか負けた直後は敗北を受け入れることができず、リーグ表に×が付くのを他人事のようにぼんやり眺めていた。この時点でまだ2試合残っており、残り全勝すれば予選突破の可能性は残っていたのだが、気持ちを切り替えるまでにかなりの時間を浪費してしまった。

同フェスタ最後の対戦相手は新潟のベテラン、98年ミニミニマスターズ大会覇者のK P L - S T R選手だった。十代の横えびくんがA Cぷよ通大会に出ていた頃、最後に出場したナミキグランプリで初戦敗退を喰らわされた相手がS T Rさんだった。大会では実に16年弱ぶりの対決となったわけだが、ここでリベンジを果たせたのは数少ない収穫だった。もっとも先方は、大昔に当たったことなど覚えておられないようだったが・ ・



チャンス笹口大会には翌年9月にも出たがそこでも勝てず、三度目の出場となる今年2月の大会にてようやく優勝できた。同じ北陸でも新潟と石川はかなりの距離があるが、今後も交流を重ね佳き競争関係を築いていきたい。

(ここから先は余談)

横えび少年が笹口小学校に通っていた頃、同じクラスに父親が某大手デパート（あくまで仮称ですが、イニシャルで申し上げますとI勢丹でございます）に勤務していた悪友が2名おりました。彼らのI勢丹愛、そして某超大手デパート（これまたあくまで仮称ですが、イニシャルで申し上げますとダイAでございます）への憎悪はそれはもうミシシッピーバーニングでございました。年末お楽しみ会では“滅ぼせダイA軍”なるユニット（？）を結成、I勢丹万歳ソングを熱唱後にダイAを模した段ボール箱を踏み潰すパフォーマンスで拍手喝采を浴びておりました。

横えび少年は悪友ともども腹を抱えて拍手しておりましたが、今かかる暴挙を放置したらPTAやらダイA関係者やらが怒髪天を衝いてえらいことになったのではないかと感慨しきりでございます。その後のダイエー（あっ書きちゃった）の栄華と凋落は皆さまもよくご存知と思いますが、もし叶うことならあのふたりにその後のことを是非聞いてみたいものでございます。

なお現代では考えられない話でございますが、当時の横えびくんは現在とは正反対である所の成績優良児でございまして、ゲームは週に1時間しかやらせてもらえませんでした。当時の私や悪友たちが今の私を知ったらどんな反応を示すか、楽しみかつ恐ろしいものでございます。

パズルゲームは苦手？

まことにお恥ずかしい話だが、私はぷよぷよ以外のパズルゲームがほとんどできない。パズドラは触ったことがないし、ぷよぷよクエストもほとんどそれに近い。将棋はここ20年ほど上達の兆しが見られないし、囲碁やテトリスは初級者レベルにすら達していない。得意と胸を張れるのは初代ぷよぷよとぷよぷよ通、そしてぷよぷよSUNのみであることを考えれば、かなり偏ったもしくは頭の固いパズルゲーマーと言えるだろう。

私にとって、ぷよぷよは最初のパズルゲームではなかった。市販ソフトではロードランナー、テトリス、コラムス、クォース、e t c.。MSXの投稿ゲームでは、テトリスの亜流というべきパズルゲームが多数あった。上海を模した“香港”（後にファミコン及びゲームボーイで市販ソフト化）や“水道管”（後にコンパイルが“ゴルビーのパイプライン大作戦”として市販ソフト化）も、ひととおりはプレイした。しかし上級レベルに達したソフトは一作もなく、ぷよぷよを始めるまでは自分がパズルゲーマーだと思ったことは一度もなかった。学生時代に知人悪友たちの前で大連鎖を披露したのちテトリスでの惨状を見せつける(?)とあまりのギャップに驚かれ、わざと下手にやっているのではないかと勘ぐられたのは少々苦い思い出である。

きちんと調べたわけではないが、ぷよらーの中にも他のパズルゲームが得意な者とそうでない者がいるようだ。NOV式を考案されたNOV老師は元祖セガテトリス全国1位だし、セブンアイランド古参ぷよらーのいぺぱぴさんはテトリス・ザ・グランドマスター世界大会で優勝。ゲームストやアルカディアでは、対戦ぱずるだま、マジカルドロップ、Mr.ドリラー、パズルボブルといった往年のアーケードパズルゲームで多くのぷよらーが全一を獲得している。



近年は、ぷよぷよテトリスの両タイトルで上位ランカーを名乗れる人間が対戦ランク上位を席卷している。昨年のレッドブル5 Gや今年の第2回セルバ杯はぷよテトが採用され、今後も両タイトルのランカー同士による死闘もしくは共闘が繰り広げられるのは間違いないと思われる。

一度だけではあるが、不肖私も“進め！対戦ぱずるだま”のスコアアタックで全国2位に入ったことがある。1位は大阪の飼葉優里師で、ぷよらーのワンツーフイニッシュとなった。しかしこれは私の適応力がどうこうではなく、ぱずるだまのルールがぷよぷよのそれに似ている（酷似していると言ってもいいかもしれない）のが大きかったと思う。

やや専門的な話になるが、従来の対戦ぱずるだまシリーズは、得点計算の関係でハードモードでないと全スコアを狙えなかった。飼葉優里師は進め！対戦ぱずるだまを通常モードでプレイしていたのに対し、ルールをよく理解していなかった横えびくんはハードモードを選択していたため、厳密には同じ土俵の戦いではなかった。間抜けな横えびくんは後日ゲームストのスコア欄を見て初めてそのことに気付いたのだが、スコア申請した鎌倉市大船の“ゲーム倶楽部”で稼働していた進め！対戦ぱずるだまはインカム不足でとっくに撤去されており、後の祭りであった。私にとっては、これがゲームストでスコア全一を狙える最初で最後のチャンスであった。無念である。

（ここから先は余談）

私が対戦ぱずるだまですごしていたのは、セブンアイランドぷよ通が対戦台になる少し前の頃でございました。ナミキぷよ通は壁が高すぎて私にスコア申請のチャンスはなく、やむなく（？）地下フロアで稼働していたときめきメモリアル対戦ぱずるだまでお茶を濁しておりました。

ゲーム i n ナミキ明大前のときめきメモリアル対戦ぱずるだまは、ナミキぷよ通の隣で対戦台稼働していた時期がございました。当時は同タイトルの全盛期でございまして、ぷよ通とメモだま対戦台が同時稼働していた時はキャラクターの黄色い掛け声やらギャルゲー風煽りやらが飛び交い、異様としか言いようのないオーラが漂っておりました。残念ながら両タイトル共に20年経った現在も正統続編がリリースされておりませんが、もし出ていたら当時の混沌が再現されていたかもしれないと思うと少々肌寒いものがございます。

今からブツ放しにいくぜ。乱入カットは済ませたか？配色の神にお祈りは？鱗に潰される恐怖でガタガタ震える準備はOK??

『逆恨み』

「これより宗教裁判の判決を行う！！被告！！『ぷよぷよ』！！被告！！『ぷよ通』！！
判決は死刑！！死刑だ！！死刑死刑死刑死刑死刑死刑死刑！！」

『宿命』

「さあどうした？まだ1回潰れたただけだぞ、かかってこい！万札を崩せ！！帰りの電車賃を注ぎ込め！！財布を全消して立ち上がれ！NOV式を整地して反撃しろ！！さあ夜はこれからだ！！
お楽しみはこれからだ！！ハリー！ハリーハリー！　ハリーハリーハリーハリー！！」

『レゾンテートル』

何故まだぷよってるのかって？

連鎖の歓喜を無限に味わうために。

次のぷよブームのために、次の次のぷよぷよブームのために。

『死守』

「もしかしたら・・・　もしかしたら今日からインカムが回復して、店が対戦台撤去を考え直してくれるかもしれない。今誰かがここへ向かって、我々との対戦を望んでいるかもしれない。わ、私はこの指揮者だ。このぷよ通が稼動している限り、離れる訳にはいかないだろう。私は駄目な男だ。無能だ、臆病者だ。自分でも何故ここでぷよっているかわからん程、駄目な男だ。生まれつきのハッター能力と、年功だけでやってきたも同然だ。困難から逃げ続け、自分で何も掴もうとしてこなかった。いつも、人から与えられた対戦と稼ぎをやってきた。だからせ、せめて仕事は・・・　この仕事はまっとうしなきゃならんと思う・・・　んだが・・・」

『PUYO PUYO』

「もっとも恐るべきゲームとは何か、わかるかね？インテグラ」

「・・・・・・・・・・ぷよぷよ」

「そうだ、その通りだよ。我らが宿敵ぷよぷよだよ、インテグラ。では何故ぷよぷよは、それほどまでに恐ろしい？ぷよぷよは弱点だらけだ。じゃまぷよを嫌い、八方向レバーを嫌い、凝視や100本勝負は目を焼く。2つ以上の段差を登れず、勉学に目を背け、仕事に目を背け、ほとんどの連鎖遣い魔は夜しか動けず、安息のねぐらは唯ひとつ連鎖フィールドの中だけ。それでもぷよぷよは、怪物ゲームと呼ばれる。インテグラ、何故だかわかるかな？」

「・・・・・・・・・・ゾンビや魔術師を操ること？」

「それは決定的ではない」

「3列目を窒息させないと死なないこと？」

「少々役不足だ。倒す法はそれに限らん」

「他人の金を吸い、いくらでも仲間と下僕を増す？」

「それは確かに恐るべきことだ。だが無敵か、とは少し違う。もっとももっとももっとも単純なことだ」

「・・・・・・・・・・連鎖を組む？」

「そうだ。ぷよぷよはとっても連鎖なのだよ、インテグラ。反射神経、集中力、第六感、身体能力、凝視力、耐久力、数学能力、合体能力、クロス性、e t c . e t c . しかし最も恐るべきはその純粋な暴力・・“連鎖”だ。人間達を軽々と、廃人の様に引きちぎる。そしてたちの悪いことに、ぷよぷよ達はその力を自覚している。単一連鎖としてでなく、彼の理知を持って力を行使する“暴君”だ。ぷよぷよにのめり込むことは、死を意味する。いいかねインテグラ、ぷよぷよとは知性ある血を吸う“鬼”なのだ。これを最悪と言わず何を言うのか？」

『宿業』

「・・しかしお前はぷよぷよを選んだ。いくらお前が真人間の世界を渴望しようとも、もはやお前には手の届かない代物でしかない。いいか言っておくぞ、婦警。一度朝日に背を向け連鎖界を歩き始めた者に、日の光は二度と振り向きはしない！！」

『矜持』

「高貴さも信念も理念もなく、G T R どころか階段もまともに組めない。撃たれたじゃまぷよの整地すらできない。上達のためでもないのに初中級者を皆殺し、拳句フィーバーモードが終わったら自力で連鎖を伸ばすことすらできない。貴様それでも連鎖遣いのつもりか？恥を知れ！！」

『全てはぷよぷよのために』

「目的のためなら手段を選ぶな？君主論の初歩だそうだが、そんなことは知らないね。いいかなお嬢さん、貴女は仮にもぷよ団体を束ねる身ならば知っておくべきだ。世の中には連鎖のためならば目的を選ばないという様などうしようもない連中も確実に存在するのだ。つまりは、とどのつまりは我々のような」

『うろこさかなびと』

大連小連の区別なく、我が催促は許しはしないわ。

『ぷよぷよSUN』

「普段の戦法ではないんだな、太陽ぷよは通血鬼の大敵ではないのか？」
「いつものスタイルでゲーセンぷよSUNを戦うわけにもいくまい、相手に潰してくれと言っているようなものだ。それに私にとって太陽ぷよは大敵ではない。大嫌いなだけだ」

『今際』

「どうした横えび、調子はどうだ？満身創痍だな、発火点が三重に潰れているぞ。整地するためだけに這いつくばるのか？どうするんだ？おまえは犬か？それとも人間か？」
「それがどうした鱗魚人・・・まだ本線が潰れただけじゃねえか。能書き垂れてねえで来いよ、かかって来い。ハリー！ハリー！！」
「素敵だ。やはりスコアラは素晴らしい・・・！」

『終局』

「コンパイル社長の仁井谷正充である。この通信が届いているかわからない、しかし誰かに届いていると信じて送信する。もうすぐここは破産する、もうすぐそこまで。巨大な負債が、セガの魔の手が、すぐ目の前まで来ている。AJPA会長の名において、本施設よりこの通信を聞く全連鎖界の対戦台、対戦団体に、最後の指令を送る。連鎖を組み、普及を果たせ」

『総滅』

「カップルは排除した。婦警、対戦するぞ」

「２・・・２トリで潰すなんて・・・」

「どうした、婦警」

「マスター・・・あの人達・・・その・・・初心者です・・・」

「だからなんだ」

「あ、あの人達は初心者なんですよ！？」

「だからなんだ！！！通血鬼！！連鎖をもって闘争を始める者に初心者も上級者もあるものか。彼らは乱入した！伸ばし、押し潰し、窒息させるために。伸ばされに、押し潰されに、窒息させられるために。それが全て！！全てだ！！闘争の契約だ！！彼らは自らの弱い連鎖に自らの全てを賭けた！！そういう事だ！！殺さなければならない！！それを違えることはできない、誰にもできない唯一つの理だ。神も悪魔も、私もお前も」

『苦境』

「お、扇ヶ丘レジャーセンターが消滅だと？ナミキやセブンアイランドに続いて扇までもが・・・ウォルター、率直に聞く。我々はもうおしまいかな？」

「否！！！！あり得ません！！！！コンパイル末期に比べれば、この程度など苦況の内にも入りませんぞ！！！！」

『日常』

「誰も彼も喜々として、地獄に向かってぶよっていく。一体誰があの中で皆殺しの連鎖フィールドで、あの中で生き残るというのだ。きっと誰も彼も喜々として潰れてしまうに違いない、じゃまぶよの中で」

『横えび２００２』

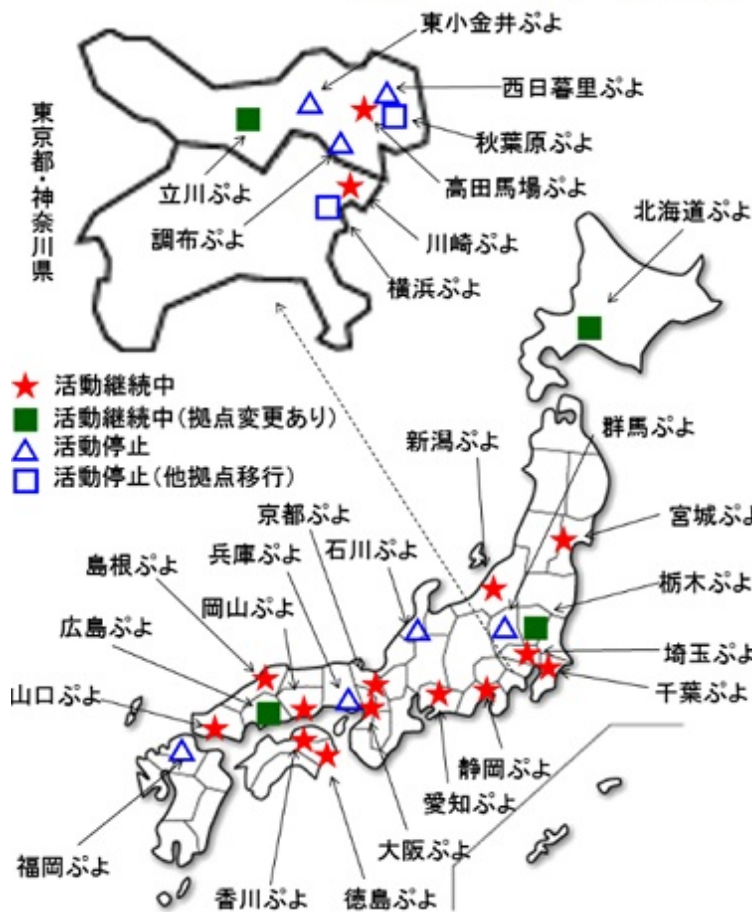
「k e n n y 1 8 連にリーチをかけたぞ、最後は青緑を画面外に・・・あ」

「どうかしましたか？」

「ダメだドク、回らん。死んだ」

「相変わらずタッタカタが下手過ぎます（どうやって１００万出したんだろう、この人・・・）」

参考画像 1



2010～2014年の、アーケードぶよぶよ対戦会拠点変遷図。

近年のゲームセンター不況により、**業界単位での方針変更**（ビデオゲームメインから、大型筐体メインへの転換）や拠点撤退（店舗閉鎖及び拠点再開拓）を強いられつつある。AC通は今年9月に稼働20周年を迎えたが、安定には程遠く先行きは不透明そのもの。

変遷図提供：右脳式ぶよぶよルーム



コンテンツ文化史学会2014年大会@東海大学高輪キャンパス。2014年11月23日。

『ぶよぶよ通スコアアタック』

諸君 私はひとぶよが好きだ 諸君 私はひとぶよが好きだ
諸君 私はひとぶよが大好きだ
階段が好きだ かんぬきが好きだ 折り返しが好きだ 連鎖尾が好きだ ありか式が好きだ
逆階段が好きだ 画面外回しが好きだ めくりが好きだ 整地が好きだ 博打伸ばしが好きだ
フィーリングで NOV式で 幽霊で kenny式で カギ積みで
カウンターで 5色面で 挟み込みで 斉スペで CKN式で
この連鎖フィールド上で行われるありとあらゆる稼ぎ行為が大好きだ
極限に組み上げた17連鎖の一斉発火が轟音と共にももを吹き飛ばすのが好きだ
空中高く放り上げられた王冠ぶよが敵フィールド上部を埋め尽くした時など心が踊る
CPUの操るスケTの単発がスコアラーを窒息させるのが好きだ
悲鳴を上げて燃えさかるフィールドを掘り返そうとするナスグレイブを
NOV式15連鎖で叩きのめした時など胸がすくような気持ちだった
同色を揃えたCPUにダブル単発で蹂躪されるのが好きだ
恐慌状態ののほが既に息絶えたスコアラーに何度も何度も2ダブを放つ様など感動すら覚える

敗北主義のミニゾンビを自殺前に吊るし上げていく様などはもうたまらない
泣き叫ぶうろこさかなびとを私の振り下ろした半K e n n y式と共に唸り声を上げる１６連鎖で
薙ぎ倒すのも最高だ
哀れな抵抗者が雑多な小連鎖で健気に立ち向かってきたのを８ぷよ２色消しの茨爆弾が
じゃまぷよごと木端微塵に整地した時など絶頂すら覚える
大連鎖中に自殺されるのが好きだ
必死に組み上げた連鎖を無駄にされ３０万点が幻になる様はととてもとても悲しいものだ
ライバルスコアラーの物量に押し潰されて殲滅されるのが好きだ
鎮一台の１位を奪われ２位以下を這い回るのは屈辱の極みだ
諸君 私はひとつよを 地獄の様なひとつよを望んでいる
諸君 私に付き従う大隊戦友諸君 君達は一切何を望んでいる？
更なるひとつよを望むか？情け容赦のない糞の様なひとつよを望むか？
放蕩散財の限りを尽くし１００万の金を霧散する嵐の様なスコアアタックを望むか？

「「「ひとつよ！！ ひとつよ！！ ひとつよ！！」」」

宜しい ならばひとつよだ
我々は渾身の力を込めて今まさに振り降ろさんとする１９連鎖だ
だがこの暗い闇の底で２５年もの間堪え続けてきた我々にただのひとつよではもはや足りない！
連鎖を！！ 一心不乱の大連鎖を！！
我らは僅かに一個分隊 １０人に満ため敗残兵に過ぎない
だが諸君は一騎当千の古強者だと私は信仰している
ならば我らは 諸君と私で総力１万と１人の稼ぎ軍団となる
ひとつよを忘却の彼方へと追いやり 対戦潰けになった連中を叩き起こそう
髪の毛を掴んで引きずり降ろし 眼を開けさせ思い出させよう
連中にひとつよの味を思い出させてやる
連中に我々のタッタカタの音を思い出させてやる
天と地の狭間には奴らの哲学では思いもよらない事があることを思い出させてやる
一万人の連鎖鬼の戦闘団で連鎖界を燃やし尽くしてやる
最後の分隊指揮官より全稼ぎ屋へ
目標アーケードぷよ通１５０万オーバー！！
第二次全一作戦 状況を開始せよ 征くぞ 諸君

『新川崎対戦会』

かくして連鎖遣い魔達は全員マットマウス５階へ登り、土曜日の惨劇は幕を上げる。



『不屈』

「この連鎖界に貴様の如きロートルが居る場所などない！今すぐ引退しろ！！今すぐ！！」
「引退しろ？引退しろだと？？なるほど、お前達らしい言い草だ。連鎖遣い魔でいる事に耐えられなかったお前達のな。連鎖遣い魔を舐めるな人間め！来い、ぷよってやる！！」

『栄光と孤闘』

「ＡＣ通はバージョンアップもないままもうこんなに、もうこんなにも古びてしまいました。
もう、しわくちゃのお婆ちゃん」
「アーカードぷよ通は２０年前と同様に、最新作のままだ。いや、彼女は今こそが確実に美しいのだ」

近年は、ゲームセンター以外でぷよぷよ通をプレイできる場が徐々に増えてきた。自宅基板、バーチャルコンソール版ぷよぷよ通、大学サークル、e t c.。

2013年3月、都内のゲームバーにアーケードぷよ通筐体が設置された。拙作で何度か登場した電気街ゲームバー第一号店こと、“秋葉原A－B u t t o n”である。

何故同店でプレイできるようになったか、説明が必要だろう。10年以上昔の話になるが、当時オープンしたばかりのセガゲーセンこと“秋葉原G i G O”にて稼働していたぷよ通対戦台は、対戦台の設定その他の交渉をしていたのは当時東京に転勤した直後の横えびくんだった。そして店舗側担当が長嶺氏、後の秋葉原A－B u t t o n店長だったのである。

その後長嶺店長は独立し、2008年6月にA－B u t t o nをオープン。開店記念イベントとして漫画家ユニット“うめ”の小沢高広先生、東京大学講師（当時）の吉田正高先生、そして米光一成教授による“ぷよぷよ会議”が開催された縁もあり、私も可能な限り足を運ぶようになった。

ぷよぷよ原作者との邂逅、東大ぷよぷよ講義への実施協力、コンテンツ文化史学会加入、ぷよぷよクエストテストプレイ（後述）は、A－B u t t o nから派生したものである。A－B u t t o nにはゲーム業界人が毎晩足を運んでおり、いちぷよらーの私もその余禄にあずかることが何度かあった。近年の我が活動の二割くらいは、ゲームバーで培ったコネクションに因るところが大きい。これは想像だが、ゲームバーやレッドブル5 Gの誕生により似たような体験をしたゲーマーは少なからずいるのではないだろうか。

後年、A－B u t t o nにビデオゲーム筐体が入る話を聞いた私は、一も二もなくぷよぷよ通を推薦した。個人的な要望であるのはもちろんだが、ゲームバーという形態にぷよぷよはマッチしていると思ったからだ。当初は基板確保に苦労した———ぷよ通基板は流通枚数が少なくなり、価格が1万円以上に高騰している———とのことだが、一度入ってしまえばこっちのもの。帰省時は最低1回はA－B u t t o nへ立ち寄り、仲間たちとぷよ通に興じたり連鎖談義を交わしたりするようになった。

いちばん驚かされたのは、2013年4月にぷよぷよクエスト原作者の“高P”こと、高大輔さん（現・G R E E）が他のセガ社員2名とA－B u t t o nへ来てくれたことだろうか。その時まで知らなかったのだが90年代の高大輔さんは対戦ガチ勢で、学生時代の私と対戦したこともあったとのこと。この日は完成間近だったぷよぷよクエストをプレイする機会に恵まれ、新時代のぷよぷよのルールと世界観に目を回してしまった。ぷよぷよクエストのロケテストは当時まだ始まっていなかったことを考えると、スマホ版ぷよクエを最初にプレイした一般人はもしかしたら私かもしれない。



正直に言うと、ぷよクエはもちろんパズドラのパの字も知らなかった私は、ぷよぷよクエストが一般層に受けるとはどうしても思えなかった。しかし実際には、2年後の現在もロングヒットを記録し続けている。我が不明がまったくお恥ずかしい。

金沢市ではカフェバー“e t c . l i n k”にアーケードぷよ通が設置され、コンシューマー版ぷよぷよともども無料でプレイできるようになった。ゲーム好きの社会人やぷよ活動の幅を広げたいと考えている大学生諸兄は、地元のゲームバーに足を運んでみることを強くお勧めする。ゲーム好きの大人同士、きっと良い出会いがある筈である。

（ここから先は余談）

基準はよくわかりませんが、各地で“ゲームバー”を名乗る店舗はゲームを遊べるところとそうでないところがございます。任天堂は国内でのゲーム及びゲーム機の各種取扱いに厳しく、秋葉原A－B u t t o nではある時期を境に動かせなくなってしまいました。

昔懐かしい駄菓子屋ではレトロゲーム機やゲームソフトを時間単位で貸し出していたお店がございましたが、現代では違法にあたるのでございましょうか？詳しい方、どなたかご教授いただければ幸いです。

稼働22年目、2015年上半期のアーケードぷよ通は、対戦・スコアアタック共に愛知勢が頂点を制した。

西日本連鎖界の頂点に君臨する、なごやんぷよの会。最強連鎖団体を背負うS級ぷよらーふたりが、私の目の前にいる。全一の称号を勝ち取った彼らは、いかなる足跡を刻んできたのか？ファンタジスタたちは何を見、いかに闘い、苦悩し、どこを目指し、何を語るのか？

ミスケン以来4年半ぶりとなるロングインタビュー、どうかごゆっくりお楽しみください。

ぷよらーインタビュー第6回（前編）

なごやんの系譜

聞き手　：　横えび

話し手　：　d r a p o m, k a m e s t r y

・きっかけと、その時期

k a m e s t r y（以下、“k a m e”と記載）　　ぷよぷよとの出会いは、デパートの屋上とかにゲームコーナーがあるじゃないですか？そこで初代ぷよぷよが稼働していたのは知っていて。その頃はお金もなくプレイはしていませんでしたけど、デモ画面を見て面白そうだな～となんとなく興味を持ったのを覚えています。実際にぷよぷよに触れたのは、当時“ゲームギアプラスワン”というセガの携帯ゲーム機があって、それを買った時にたまたま“なぞぷよ”っていうソフトが付いてまして。それをやったのが、いちばん最初にぷよぷよをプレイしたきっかけですね。時期ははっきりは覚えていないんですけど、僕が13歳か14歳くらいの頃です。ゲームギア自体はもっと昔から出ていたので、割と遅めに買った感じですね。

———　初代ぷよぷよではなく、なぞぷよからスタートしたということですか？

k a m e　　はい。なぞぷよから入ったのが、普通とちょっと違う部分があるのかなと思っています。子供の頃にお小遣いを貯めて買った、ゲームギアに付属していたゲームがたまたまなぞぷよだったのです。それがなければ、多分やり込むきっかけにはなかったです。対戦から入ったわけではなくて、何かをやりたくてゲームギアを買ったわけでもなくて、たまたまゲームギア

を買ったらなぞぷよが入っていました。まずは入っているゲームで遊ぼうと思って、それをひたすらやり込みました。

——— ぷよぷよ戦術技術開発研究所創始者のさいとう所長も、なぞぷよが最初ですと仰っていましたね。「兄弟でなぞぷよを出題し合っていました」と。

k a m e おおー、すごい。なぞぷよから入ったんだ。話を聞いてみたい（笑）

——— 他にゲームギアのソフトは購入されましたか？

k a m e なぞぷよの他にもう1個あったのですが、ソフト名は覚えてないですね（笑）なぞぷよには100問入っていたのですがそれはすぐ解けまして、いや、すぐでもないかな？何回かやり込んでいる内に問題をすべて解いて、なぞぷよの中にエディッター、自分で連鎖を作れるモードがあったので、自分なりに連鎖を作っていた感じです。それが、今の不定形と言われるような連鎖の元になっていると思います。

——— では最初の頃は、対戦は全然しなかったということでしょうか？

k a m e そうですね、ぷよぷよを始めた頃は対戦というよりはひとりで色々な連鎖を考えていました。

——— コンパイルが大会をやっていたことはご存知でしたか？

k a m e 大会の存在を知ったのは、ゲームセンター“パシオン”の対戦会に参加した後です。対戦を始めるきっかけになったのは、当時大須の“ゲームスカイ”というゲームセンターに通っていて、そこで“N P A（名古屋のぷよ通を熱くする会）”という団体の代表だったぽのおさんという方がスカイでピラを配っていた。「ぷよぷよ通の対戦会を始めますよ」って誘われて、自分もパシオンに通うようになって。それから、コンパイルの大会の存在を知りました。ちなみにスカイは、今年の2月に閉店してしまいました。パシオンは、かなり早い時期になくなっちゃいましたね。

d r a p o m（以下、“ドラポン”と記載） 3，4歳頃に、スーパーファミコン版のぷよぷよ通で遊んだ記憶があるのですが、それは姉の友人の借り物だったので、一時的なものでした。初代ぷよぷよで遊んでいたという話も聞いたのですが、当時の僕が幼すぎて記憶はないですね。姉弟は4人いるのですが、当時はかえる積みなどのフィーリング連鎖で遊んでいました。その時に対戦の楽しさを知った感じだと思います。再びぷよぷよに出会ったのは、小学生の頃です。

——— それは、もう21世紀に入っていましたか？

ドラポン まだ20世紀・・・ あ、違いますね。21世紀に入っていますね。スーファミ版のぷよ通りミックスに再び会いまして、そちらで遊んでいた記憶があります。どちらかということ対戦よりもひとり用、リミックスには“通モード”があるじゃないですか？あれをじっくり遊んでいた記憶があります。ガチの対戦はどちらかと言うとネット対戦の時代に入った後で、2003年か4年くらいだったと思います。ふたつあるのですが、ひとつはぷよぷよフィーバーオンラインですね。初めはβ版に入りまして、こんなゲームがあるんだなとふつうに遊んでいた。ネットぷよ対戦に参入するいちばんのきっかけになりました。もうひとつは、“R e n s a . i n f o”と言うぷよぷよのA Iとの対戦をメインにしたサイトがあったのですが・・・

k a m e “れんさいんふお”??

——— 私も聞いたことはないような・・・

ドラポン R e n s a . i n f oの管理者は“かもさん”っていう、恐らく今のぷよ界にはいら

っしやらない方なのですけど。ぷよぷよ A I と戦ったり、特殊なルールを組み込んだハンデ戦などもできました。いちばん面白かったのは、特殊ルールで“とことんぷよぷよ”のような状態で、自分の組んだ連鎖を登録した C P U と対戦できるんですよ。

——— もっと有名になってもおかしくないような・・・（笑）

k a m e 10 年くらいなら結構最近だし、ぷよぷよフィーバーより後ですよ？

ドラポン 開始年に関してはよく分かりません。今は“R e n s a . i n f o”のサイトがなくなってしまって、アーカイブでしか見られないですね。ぷよぷよと出会ったきっかけは、大体そのあたりになります。

——— “なごやんぷよの会”に入ったのは、いつ頃でしょうか？

ドラポン 2008 年くらいです。

——— 愛知県のぷよ活動は、いつくらいに知りましたか？

ドラポン 少し回りくどい話になるのですが、ぷよぷよフィーバーオンラインには 01 から 07 のロビーがありまして、僕は 03（ゼロサン）民でした。「名古屋で大きな大会が 3 月にあるよ」って話が 03 ロビーで流れていまして。“ゲーム B O X Q 2”の場所を検索してみましたら、思った以上に家から近くて。本当に運が良かったというか、初めは「ぷよぷよの大会なんて」くらいに思っていたのですけど。家から近いので「ちょっと顔を覗かせる程度であれば 03 のメンバーも来るだろうし、行ってみようかな」と思い立ちまして。それで当日 Q 2 に足を運んで、ぷよぷよフィーバー大会に参加したら、3 位か 4 位に入賞できました。

——— いきなりベスト 4 まで勝ち上がったのですね。誰に負けたかは覚えていますか？

ドラポン はっきりとは覚えていませんが、ランク上位にいた誰かだったと思います。

——— それまでは、ゲームセンターには通っていなかったのでしょうか？

ドラポン そうですね、その Q 2 杯が初ゲーセンでした。うまくないのに、何故入賞できたのか不思議なくらいで。・・・当時はぷよぷよ通のガチ対戦もそこまではやっていなくて、フィーバーオンラインのクラシックルール対戦をちょくちょく、つまむ程度にやっていた感じです。

——— では当時はその後ぷよぷよ通にハマる、スコアアタックで頂点まで駆け上がるイメージは・・・

ドラポン まったくなかったですね。

k a m e 自分もスコアはまったく手に付けていなくて、たまに遠征勢、H I R O くんやしろまさんが Q 2 杯後にスコアアタックをやっていたのを見て触発されましたね。

ドラポン 初めて参加した大会の次に B O X Q 2 へ足を運んだのは 2 ヶ月後の 5 月の大会で、その時に初めてぷよぷよ通の初中級者大会に参加しました。その時に対戦会の存在を知って、夏休みの 7 月か 8 月に初めて対戦会に参加しまして。当時、なごやんの上級者だった、C y b e r s o u n d さんと東海林さんのおふたりに出会いました。その際に C y b e r s o u n d さんに「君、うまいね」って声をかけてもらって。

k a m e 自分も大昔、ぱのおやじに「君、うまいね」と声をかけてもらった（笑）

ドラポン 今から思えば、それが対戦会に通うきっかけになったのだと思います。スコアアタックを始めるようになったのは、当時東海林さんとメッセージで情報交換して、お互いにスコアアタックを遊び始めて。当時のメッセージのメンバーが錚々たるメンツで、S q u i k a さんや m o m o k e n さんとか。S q u i k a さんと東海林さんが先んじてスコアをやってら

っしゃって、それに触発されて2009年にぷよ通スコアを本格的に始めました。

——— 初期のぷよ通自己ベストは何点くらいだったのでしょうか？

ドラポン 最初の記録は2009年2月なのですが、それが50なん万点でした。

——— 50万しか出せないドラポン選手なんて、想像もつきませんが（笑）

k a m e 最初は誰でもそうだから（笑）

ドラポン 2009年2月20日に、1面から順番に16連鎖11連鎖9連鎖9連鎖で。5面で死んで50なん万かわからないですけど、これが最初の記録です。漠然としていますけど。



闘劇2012@下総運動公園、日本ぷよ連盟野外講座。2012年8月5日。

・名古屋の壁、全国の壁

——— おふたりが全国トップを目指すようになった、具体的なきっかけはありましたか？

k a m e 僕の場合は目指すというよりは、当時AJPA、“全日本ぷよ協会”っていう団体があったじゃないですか？大きな大会が全国で行われていて、公式大会で上位入賞するんだっていう意識がいちばんにありました。1995年1月の第1回ぷよマスタース大会の存在は知らなかったのですが、夏にはばよえんツアーの名古屋大会が開催されたり、96年3月の第2回マスタース大会が開催されたり。大会の存在は知っていたと思うのですが、参加はしていないんですよね。当時は対戦会に参加するだけで、大会への参加意欲ってものがまだなかったんですよ。第2回マスタースと同時期に“CSG名古屋”っていう、ゲームショウの前身にあたるイベントがあり

まして。いろんなゲームブースが出ている中で開催されたぷよ通大会の決勝で、N P A代表のばのおさんに勝って初優勝を飾ることができました。この優勝により、大会で勝つ喜びや上位を目指す意欲が出てきました。

——— 首都圏に出るのは大変でしたか？

k a m e そうですね。全国大会は東京に出なければいけませんし、頻繁に遠征できるって年齢でもなかったの。96年夏のばよえーんツアー東京大会で、初めて遠征しました。ばよえーんツアー東京大会に一般出場から優勝して、全国大会のシード権を獲得して。全国本戦に出場して、準決勝で松金くんに負けました。

——— 決勝が、ぷよ松V S 高橋健太郎の・・・

k a m e そうそうそう、その上に田中名人がいましたね。

——— ばよえーんツアーはものすごい来場者数で、会場の雰囲気もふつうではなかったと思いますが、公式大会のプレッシャーはありましたでしょうか？

k a m e やっぱりそういう、たくさんの人の中でプレイするっていう経験がなかったので、ものすごい緊張ですね、一試合一試合。だから、まともな状態ではプレイしていなかったと思います。でも、それでも名古屋のみんなと行って、いい結果を残したいという思いが当時からあったの。東京で入賞できたのはすごく嬉しかったです。

——— その頃は、自分は全国でもかなり上に行けるのではないかなことは・・・

k a m e 自信はすごくありました。N P Aに参加し始めた頃はばのおさんがいちばん強かったのですが、戦っている内に勝ち越せるようになって。当時の名古屋は僕とくまちょむとF A L くんの3人が突出していて、“名古屋三強”って言われるようになっていました。

——— 当時から名古屋勢は頭抜けていましたね。名古屋最強イコール全国最強というか。

k a m e 名古屋と、当時の東京は明大前ナミキですね、強い人が集まっていたのは。初めて東京に遠征した時は、第2回マスタース大会を制した電気街アルルさんの家に名古屋のみんなと一緒に泊めてもらいました。その時に東京のメンバーや、更にその知り合いの方たちを紹介してもらったりもしました。

ドラポン 2009年の1月と3月にB O X Q 2で初中級者大会があったのですが、1月の大会は30名くらいの出場者で僕が優勝しまして、3月は65人くらいでまた優勝できて。その時に高校生最強なのではないかと言われるようになりまして。連覇で自信を付けられた所もあります。

——— 当時はもう、初中級者レベルではなかったということでしょうか？

ドラポン それはわかりませんが、その頃に全国を意識し始めたと思います。その後C y b e r s o u n d さんが“高校生最強決定戦”と銘打ったものを始めて、僕の相手はほすけくんで。その時は負けてしまったのですが、でも僕自身が強くなったのかな、と悪くないイメージを持ちながらできていたように思います。全国を意識していたかって言われると怪しいのですが、自分自身の置かれている立場、どれくらい強いのかを意識し始めた時期だったように思います。

——— 翌年11月の京大大会で初めてお目にかかった時には私のスコアはもう抜かれていたと思いますが、上昇カーブはどれくらいだったのでしょうか？

ドラポン 2010年6月頃にアーケードぷよ通で100万を達成しまして、100万突破するまでが長かったのですが。京大大会の決勝でぐっくるくんと戦った頃は106万を出してい

ました。スコアに関しては全国を意識していたというよりは、僕自身がSFCのひとぷよ、通モードをやっていた頃の延長上、と言うんでしょうか？そういう感覚でプレイしていたので、スコア全一を意識し始めたのは結構遅い時期だったように思います。正確な時期はちょっとわからないですね、おそらくは110万を超えた頃あたりなのではないかなあと。具体的なエピソードが何かあるかと言われると、思い当たらないですね。

kame 横えびさんは、スコア自己ベストはいくつでしたっけ？

———— 5年前は104万、今年1月に113万を出せまして、ようやく110万の壁を・
・（苦笑）上達速度がゆっくりなもので、他の方のことをどうこう言いにくいのですが（震）

ドラポン 全国を意識していたというよりは、探究心を持って遊んでいく内に上がっていったと言うか。そんな感じだったと思います。

———— ゲームストやアルカディアのスコア欄を見たりはしましたでしょうか？

ドラポン それはしなかったですね。ぷよ通スコア全一がMYKさんで、続いてミスケンさんがいてY.Iさんがいてってことは伝聞で知っていましたが。

kame 名古屋では、スコアをやっている人がいなかったですよ。たまに空いている時間にやるって人しかなくて、ガチでやり込んでいる人は今まで名古屋では・・

ドラポン それこそ、亀さんが・・

kame 同じ年の10月に、自分がドラポンの目の前で122万を出したんですよ。そこから一気に、ドラポンが化け始めたなってのはあったと思いますね。

———— その122万点は、1面で失敗したと聞きましたが（笑）

kame そう、だから9ステージがかりで。だから出せたのはたまたまだったと思いますけど（笑）

ドラポン びっくりしました（笑）

kame 自分はナス以降、5色面は不定形でいったのですが。たまに、1面も不定形でやりますよ（笑）

———— ミスケンスタイルですね。人智を超えています。

ドラポン 名古屋だとスコアアタックを見る機会が亀さんくらいしかないなので、すごく触発された気がします。

kame 自分がスコアをやるのは、遠征勢が来た時に一緒にやるくらいしかなかったんですよ。

———— 今みたいに、スコア動画がすぐバツて上がれば良かったのかもしれませんが。初期のニコ動は対戦動画メインで・・

kame 少なかったですね。電源パターンで19連鎖とかはありましたけど。

ドラポン ありましたね、TAS動画的なものだったりとか。スコアアタック動画は少なかったもので、独学で手探り状態だったように思います。

———— ミスケンも言っていましたけど、独学でやれる人は強いですね。名古屋勢が集団で強いとはいっても、トップの人たちは独学でやっている感じがします。しろま会長のスコアアタックも、他人をお手本にしている感じがしませんし。

kame 自分にしかない物を身に付けられるので、それは対戦でもすごく役立てられます。

ドラポン しろまさんのスコアアタックは、だいぶ独特ですよ。

k a m e トップスコアラーはみんな違いますよね。それぞれの考え方がすごく出ていて。

———— ベースは階段折り返しなのに、こんなに違うのかと（笑）

ドラポン 対戦とは違った世界の探究みたいなものがあって、それはすごく楽しいです。自分自身もアイデアを出していったり、道を創っていく感じがしていい。そういう意味では、自分にぶよ通スコアアタックが合っていたのかなと思います。

・ なごやんぷよの会

———— 20年前と現在では少し違うかもしれませんが、名古屋勢の日常的な活動やトレーニング、ここは関東とは違うなという部分がありますでしょうか？

ドラポン 関東と違う部分・・・普段はQ2で対戦会をやっていて、それ以外には定期的開催している大会や初中級者対戦会を実施しています。初中級者対戦会は、セブンアイランドの第一部対戦会に触発されて開設した経緯があります。

k a m e 年に6回のBOXQ2杯と、毎月1回初中級者対戦会を定期的に行っています。それ以外には忘年会と、お盆になごやん総当たり戦を企画する、年間スケジュール的にはこんな感じです。

———— 私は昨年末に、初中級者対戦会とは知らずに乱入してしましまして（笑）

ドラポン ああ、ありましたね（笑）

k a m e 一般の対戦台が残ってなくて、入れなかったんだ（笑）

———— 初中級レベルには思えなかったので（笑）乱入後に声をかけられて、「え？しょちゅう・・・きゅう??」

k a m e でも、一台はフリー台にしていたのでは？

ドラポン 初中級者対戦会はフリープレイにすることが多いのですが、参加者が多い時はフリープレイでない台も初中級の方を優先して遊んでいただきたいという形にしております。

———— 知らなかったとはいえ、申し訳ないことをしました（苦笑）

ドラポン もっと告知に力を入れていればよかったのですが。名古屋は皆で集まってアットホームなイベントを開いているのが、いちばんの特徴と言えるかもしれません。

———— 名古屋勢のノウハウを広めたりすることはありますか？

ドラポン そうですね、Q2杯運営役のRaybornさんが大会の相談を受けたりしていますね。

k a m e 運営代表クラスの方は各地の方からアドバイスを求められることが多いですね。少し前はFALくんとかSANAさんとか、今はRaybornくんが。僕が見てきて言えることは、対戦会では興味を持って居そうな人が居たら積極的に声掛けしたり、来ていただいた人には次もまた来たくなるように振る舞ったり、ブログやSNSなどで対戦会の雰囲気の記事にしたり。興味を持っていただけるよう、参加したくなるような地道な活動を継続することが大事ですね。

ドラポン 大会やイベントの話は運営メンバーが集まって企画を立てたりするのですが、そ

れを常連メンバーまで巻き込んでいってひとつのイベントを成り立たせるというのが、なごやん流ですね。

k a m e そうですね、スカイプやチャットとかで会議をやって。

ドラポン 初めの初中級者対戦会も僕が騒ぎ立ててメンバーを巻き込んで始めた経緯がありまして、それが今でも初期メンバーのままで成り立っている。428さんとぐっくるくんと3人で集まって、今までやってきております。

————— 名古屋は、うまく世代を重ねてきている感じがすごいですね。IPSは、若い人がなかなか・・・

k a m e ずーっとズバさんとしろま会長が（笑）環境は大きいですね。対戦を開く場。

————— k a m e選手はセガ公式イベントやレッドブル5G、昨晚東京MXテレビで放送された“eスポーツMaX”。あとは昨年名古屋で放送されました、オードリー春日さんの・・・

k a m e ぷよぷよテトリスの発売記念で出演させてもらったやつですよ？

ドラポン “オードリーさん、ぜひ会って欲しい人がいるんです！”、中京テレビの番組ですね。

k a m e 出演オファーをいただけたのはレッドブル大会の影響が大きくて、その流れが今も続いている感じです。あとはくまちょむの影響も大きいですね。くまちょむと対決した昨日のeスポーツMaXは録画放送で、4月に収録がありました。

————— あの番組は北陸では見られないので、後日動画で・・・

k a m e 名古屋でも見られないです（笑）東京MXは都内と一部地域でしか視聴できないので、番組の短縮版がYouTubeに上がるのを待つしかないですね。

————— ドラポン選手にメディアからオファーが来たら、どうされますか？

ドラポン ううーん、難しいですねえ・・・そこまで抵抗はないと思うのですが、いざそういうお誘いが来たら断ってしまうかなあ。不安なので。

k a m e チャンスが来たら活かさないと！（笑）

ドラポン ううーん・・・ 難しいですね、やっぱり。多分シャイなので、うまく対応できないと思います。

————— AJP A時代に、新聞やメディアに取り上げられたことはありますか？

k a m e 僕は当時は、そんなに有名ではなかったの。97年末の任天堂杯で優勝して第4回マスターズ大会のシード権を獲りましたが、当時コンパイルの経営が傾き始めてマスターズ大会自体が開催されませんでしたし。もっと公式の大会が続いていれば、何かあったかもしれませんね。

————— 任天堂杯の数日後に第2回ぷよ名人戦があって、本戦の8人リーグ最終戦でミスケンと対決しましたね。

k a m e 正確なポイントは覚えていませんけど、僕がFALくんが2位でしたね。コンパイルが潰れてぷよ名人戦のビデオも発売されなくなって、ミスケン動画がお蔵入りに（苦笑）

ドラポン なんてもったいないことを。歴史的瞬間だったのに（笑）

————— アーケードぷよ通公式戦がようやく始まったかと思ったら、あれが最後でしたね・・・

（中編に続く）



2013年2月。8ヶ月ぶりに出場したa-c-h-o大会にて、ちょっとした出来事があった。くじ引きの結果、初戦の相手がd-r-a-p-o-m選手になったのである。

難敵であるのはもちろんだがあり得ないことではないし、同大会は2敗失格制だから負けてもまだ次がある。前回の決勝に続いてまた勝てば格好いなあウシシシなどと思っていたのだが世の中そんなに甘くなく、0-2であっさり負けてしまった。その後敗者戦を勝ち抜いたものの敗者戦決勝でほすけ選手に打ち取られ、予選敗退が確定してしまった。

4ヶ月後の、2013年6月a-c-h-o大会。予選組み合わせ表を見た私は、思わずのけぞってしまった。初戦の相手は、またしてもd-r-a-p-o-m選手だったからである。a-c-h-o大会は初戦では同一地方の人間を当てないようにしているとは言え、それにしても珍しい。今度は勝つぞと意気込んで臨んだのだが、1-2でまたまた敗れてしまった。無念である。

更に3ヶ月後の2013年9月。石川勢7名で挑んだ新潟県のチャンス笹口大会にて、またしても組み合わせに驚かされることとなった。予選本戦あわせて6試合、3位決定戦まで一度も新潟勢と当たらなかった、というより石川勢としか当たらなかったのである。

この日の笹口大会は新潟勢13名、石川勢を合わせると計20名の出場者があった。a-c-h-oのそれとは異なり新潟ぷよ通フェスタの組み合わせは完全ランダムコンピュータ抽選で、石川勢7名のうち私を含む4名が同じ予選リーグに振り分けられた。こういうこともあるかあと思っていたら、初戦でいきなり砂くんに0-3のストレート負け。後がなくなった私はヴァイオさんとのえりあくんを撃破し、辛うじて2位通過した。やむを得ないとはいえ同じ石川勢に首切り役を演ずるハメになったのは、若干やりにくさを感じたのもまた事実であった。

同大会本戦は初戦は砂くん、準決勝はT、Tたかさん、3位決定戦はぽむむくんと対決となり、最後まで石川勢同士の潰し合いとなった。同大会で私が新潟勢に当たるには決勝戦まで勝ち上がる他なく、私にとってそれは少々高いハードルであった。

初戦同士討ちを回避するa-c-h-o大会と完全ランダムチャンス笹口大会、どちらのシステムが優れているかは私にはよくわからない。はっきりしているのは誰が相手でも勝ち続けなければ優勝できないことで、頂点を目指す人間にとって途中で誰に当たるかはあまり重要ではない。それは一応わかっているつもりが、こうしていつまでも愚痴ってしまう非能非才の我が身が悲しい。



IPSケーキ会@サンニコラ香林坊店。ケーキバイキング！

（ここから先は余談）

今年2月の笹口大会（新潟勢9名、石川勢7名、静岡勢と神奈川勢が1名）では決勝まで全7試合を戦ったのですが、新潟勢とは2回しか当たりませんでした。初戦は前回笹口覇者のズバ副会長が相手で、勝ったからよかったものの負けていたら愚痴と言いつの嵐になったのは間違いないところでございます。

翌3月の北陸新幹線開通と同時に金沢⇒新潟の直行便（特急北越号）は廃止となり、笹口には行きづらくなってしまいました。新幹線の乗継ぎ（金沢⇒高崎⇒新潟）という手段も一応ございますがそれは石油王的発想でございまして、財政的には非常に厳しいものがございます。

2013年末に開催された、宮城県仙台市のイベントに協力した。東北地方最大のぷよぷよイベント、第1回セルバ杯である。

それは気まぐれとしか言いようがないつぶやきから始まった。仙台市泉区のショッピングモールこと“泉SELVA”のツイッターアカウントがselva選手のアカントをフォローし、ぷよぷよ大会を開催しようとツイートしたのである。

名前の綴りが同じという理由で面識のない人間をフォローする公式アカウントもすごいが、のみならず「うちの店で大会開催しましょうよゲームイベントなんて一度もやったことないけど多分なんとかなりますよいいから来てくださいウハハハ（※作者注 文意を損なわず、表現を若干変えています）」と提案するなど前代未聞ではなかろうか。最初の内は我々も先方の意図を測りかねていた（アカウントを乗っ取られたんじゃないかと言いつける者もいたくらいだ）のだが、泉SELVA公式の中のひとから思いがけず———東北勢でもselvaくんでもなく、私宛てだった理由はよくわからない———協力依頼メールが届く。その結果、北陸勢の私が東北ぷよぷよサークル及び東京都民のselva選手、そして泉SELVAと連携を図りつつ、ぷよぷよ関係者は誰も足を運んだことのないお店のぷよ大会開催に協力するという妙な事態に陥った。

最後に私が仙台へおじゃましたのは、2011年末のプレイランドエフワンR大会。泉SELVAはもちろん東北ぷよぷよサークルの面々とも面識はほとんどなく、手探りで開催にこぎつける必要があった。

開催2ヶ月前の時点では、ほぼ何も決まっていなかった。開催日時、開催場所、使用機種及びソフト、事前エントリー、予選と本選、配信はするのか、大会以外に何をやるか、入賞者への表彰は、etc. etc.。出場者の多くは関東からの遠征になると予想していたため、開催するなら年末年始かゴールデンウィークしかないと思い、脳内であれこれ試行錯誤。メール及びツイッターのダイレクトメールをフル活用し、多い時は1日に20通近くやり取りした。開催予定日まで時間がなく、多くのことを短期間で詰めなければならなかった。

後日、泉SELVAから“12月29日に当店2階のセンターコートを使えます”との連絡をいただいたのだが、この時点で開催までの残り時間はかなり少なくなっていた。泉SELVAからイニシアチブを与えられていた私は、内心の不安もあり少々強引な手段を選択。すなわちぷよ勢側の同意を得ることなく“12月29日の午前～夕方に泉SELVAセンターコートで開催”を確定させ、開催日時及び場所の検討を未然に封じてしまったのである。私の独断専行、特にselva選手不出場やむなしの姿勢は非難の元となった。何名かの方には嫌な思いをさせてしまったが当時の私にはあれが精一杯で、これ以上の選択肢は結果的になかった。

師走に入り、東北ぷよぷよサークルのメンバーが泉SELVAで直接やり取りを行うようになった。空白だらけの青写真は瞬く間に埋まっていき、大会ルールやリアル漫才デモ（後述）の詳

細が共有されるようになったのは心地よかった。にわかコンダクターとしての役割は事実上ここで終了し、また12月初旬はコンテンツ文化史学会にて研究発表を控えており、セルバ杯にのみ目を向けることは不可能だった。東北勢を中心としたセルバ杯プロモーションや大会エントリーが始まり、進行に少し余裕ができた。

セルバ杯前日、12月28日。この日から年末休暇に入った私は、徹夜明けの始発で一路仙台へ向かった。一路と言えば聞こえはいいが、下宿から金沢、金沢から小松空港、小松空港から仙台空港、仙台空港から泉中央へのルートはなかなかにしんどく、粉雪舞う泉中央駅に8時間かかりで到着した時はヘロヘロになっていた。しかし疲れている暇はない、目の前には文字どおり夢にまで見た泉セルバがそびえ立っているのだ。

店内各所に掲示されていたセルバ杯ポスターに感涙しつつ事務所に通された私は、13時過ぎに“泉SELVA公式の中のひと”こと吉田久美子さん（セルバ杯ポスターを作成されたのもこの方）にご挨拶。少し遅れて到着した東北ぷよぷよサークル勢の面々と、セルバ杯当日の打ち合わせが始まった。当日の進行予定や出場予定者数はある程度把握していたが、東北ぷよぷよサークル代表こと風来のひでかつくんに渡された進行表、特に“セルバ四天王 VS selva”のシナリオには悲鳴を上げそうになった。セルバ四天王のひとりとして私がselva選手と戦うことは決まっていたのだが、演劇要素皆無の私にとってリアル漫才デモの台本はあまりにも本格的過ぎたのだ。

「こ、こここれジブンがやるンですか？死体役も??」

「何言ってるンすか横えびサン、ここまで来たら覚悟決めてください!」

打ち合わせ終了後は、このまま横浜へ逃げ帰りたい気持ちをちょっぴり抱えつつ東北勢の自動車でプレイランドエフワンRへ。セルバ杯前夜祭として開催された、東北最強戦に出場するためである。

ハプニングはここでも発生した。最強戦優勝者はセルバ四天王筆頭としてリアル漫才デモの最後に登場してもらうつもりだったのが、既に四天王に内定していた私が優勝してしまったのである。優勝はa-c h o大会以来1年半ぶりでそれ自体は嬉しかったのだが、慌てたのは東北サークル勢である。東北勢のばんきょう選手に急遽代役を依頼し事なきを得ることができたが、内心はきっと「（あのオッサン空気読まずに何やっとなじゃ）」という感じだったに違いない。

いろいろあってセルバ杯当日、12月29日。

私は仙台駅前のビジネスホテルに一泊してから泉中央へ、朝8時に泉セルバ入りしセッティング開始。従来のぷよぷよイベント会場とは何もかもが大違い、瀟洒な周辺ショップの数々、大型モニター、大型看板、試合席と観戦席、配信機器と実況席、そして吹き抜け式センターコート。「会場使用料は取られたの?」と聞かれたことも何度かあったが、私の知る限り第1回セルバ杯はオール無償貸与である。すべては泉セルバによる、底なしのサービス精神の賜物であった。

イベント開始後は、それまでのドタバタが嘘のように暇になってしまった。仕事らしい仕事と

いえば初心者のお客様を台に案内すること、当日入りした s e l v a 選手を事務所に案内し、大会及びリアル漫才デモの進行説明とリハーサルくらいだろうか？私は裏方専門で大会にはエントリーしておらず、また出場者の多くは運営側と面識があったため、イベント進行自体はそれまでと比べれば段違いに楽であった。



J R 仙台駅コンコース。2013年12月28日。

予選終了後、センターコートではニコニコ生放送でセルバ四天王対 s e l v a のリアル漫才デモが始まった。台本を元にリハーサルもそれなりに行いはしたが、なにしろ初めての試みで台詞も長く、一般客や従業員の皆さんに丸見えという公開処刑状態。最後に登場する私は自然にラスボス役を演じられるのか、ぶっつけ本番でまともな試合になるか不安で仕方なかった。

リアル漫才デモ冒頭に広報の吉田さんによるセルバ杯趣旨説明が行われ、続いて四天王入場。最初の3人、すなわち風来のひでかつ、ばんきょう、セルバ2号女史は見事な演技と善戦空しく討ち取られ、東北ぷよサースタッフに死体として哀れ会場外へ担ぎ出された。生き残りはエフワンR王者の横えび選手のみ、いよいよ出番である。

・ ・ ・ここから先のことはあまり思い出したくないのだが、「スタッフ！！例の物を！！」とやけくそ気味に叫んだ私は s e l v a くん に レッドブルを手渡し、飲み終わってからぷよぷよ20thのぷよぷよ通ルール（大将の私のみ通常対戦）で対決開始。慣れぬWiiパッド（言い訳）で操作ミスを連発、まったくと言っていいほど見せ場を作れぬままストレート負けを喫し、断末

魔と共に床へ倒れ込み、s e l v a くんを抱き起され健闘を称えあうハメになった。36歳にもなって何をやっているのだという気がしないでもなかったが、最低限の役目を果たすことができほっとした。

茶番劇勃発に伴い、通行人の皆さんやセンターコート周辺で勤務されていた方々のうち何人かは、笑いを堪えるのに必死になっていた。特に従業員の皆さまには、あの時はほんとうにご苦労様でしたごめんなさいとしか言いようがない。

セルバ杯本戦は、あさ選手（前日の準決勝で私と激突）がベスト8でs e l v a 選手を撃破、その余波をもって見事優勝。試合時間が予想より長引き3位決定戦を省略するハプニングはあったものの、全体としては想像以上の盛り上がりだったと思う。準備段階も開催当日もドタバタの連続であったが、周囲のご助力でなんとか成功裡に収めることができました。この場を借りて、お礼申し上げます。

私は29日中に横浜へ帰らなければならなかったため打ち上げには参加せず、機材撤収作業終了と同時に泉S E L V Aを辞し横浜実家へ直行。作業中に左手を怪我したのに気付かぬまま東北新幹線車内で爆睡し、鈍痛で目覚めたときは床に小さな血の海ができていた。しまらない話で恐縮だが、ドタバタは最後の最後までおさまらずじまいであった。

1年半後。第2回セルバ杯は2015年6月にぷよぷよテトリスルールにて開催され、レッドブル5Gの協力のもと第1回以上の出場者を達成した。催しの性格上、頻繁に開催するのは難しいかもしれないが、今後も東北の名物イベントとして定期的な開催を願ってやまない。

（ここから先は余談）

プレイランドエフワンR大会決勝で激突したd e l t a 選手は1995年生まれ、すなわち私より18歳年下でございました。あくまで想像でございますが、歴代のぷよ通大会決勝では最も年齢差のある対決だったのではないかと思います。頭脳競技の世界では珍しくないことではございますが、自分の半分しか生きていない人間と同じ土俵で戦うのはなかなかに厳しいものがございます。

リアル漫才デモの大將戦冒頭は、初期案ではレッドブルではなくカレーを食べさせることになっておりました。センターコートは食事禁止だったこともありレッドブル案に落ち着いたのですが、もしカレー案が通っていたら相当にシュールなシーンになったのではないかと思います。これも何人かに聞かれましたが、四天王の誰かにs e l v a くんが負けた場合の台本も用意されておりました。すなわちあの勝負自体はやらせではなく、4試合すべてガチ勝負でございます。残念ながら第2回セルバ杯ではリアル漫才デモは行われませんでした。第3回では是非復活してほしいと思います。

なおこの2日間のうち私がニコニコ動画にアップされたのはリアル漫才デモの惨劇のみ、エフワンR大会での雄姿は未だお蔵入り状態でございます。今からでも遅くありませんので、東北最強戦の動画も是非公開していただきたく存じます。

1面の対スケルトンT戦でスコアアタックに失敗したら、次にどのキャラを選ぶのか。ぷよぷよ通稼働初期は、フリープレイが導入されている店舗はなく、動画配信は技術的に不可能だった（録画するという発想自体が希薄だった、と書く方が正確かもしれない）。また、ぷよ通ガチ勢の大半は学生で、1面を失敗したら即捨てゲー、というわけにはいかなかった。ナミキぷよ通黎明期は2面うろこさかなびとという選択肢もまだ浸透しておらず、何もかもが手さぐり状態だったと言っている。

たぶん、1996年の2月か3月だったと思う。この日のゲームinナミキ明大前には、LUC、ひげぷよまん、渋谷キング、SPDFGCといったスコア常連がいて、1面はスケTを選ばず2面に残す、いや1面はスケT固定で2面はスキヤポデス、いやいや2面はポデスよりのみの方がいい、などなど、プレイもせずもっぱらスコア談義を戦わしていた。要するに、皆、春休みで暇だったのだ。

誰を選ぶか。ナミキ勢から意見はいろいろ出るが、どれもはっきりしない。ただ、こいつだけは絶対にわるい、と衆議一決した敵キャラがいた。ナミキ勢から酷評を浴びたのは八部衆最右翼のミニゾンビで、初手からノンストップで落とす、挙動不審、そのくせ自殺率が異様に高いと踏んだり蹴ったり。私も同感で、ただでさえ効率の悪いぷよ通スコアアタックで、わざわざ火中の栗を拾いにいくような真似をする人間がどこにいるのか、と確信していた。

少し話はそれるが、1996年に入ると、スケルトンT⇒うろこさかなびと⇒ナスグレイブ⇒ウィッチ⇒ドラコケンタウロスのルートは、スコアラ間ではほぼ確立されていた。当時の私はというと、5色面にまだ自信がなかったこともあり、五人囃子ではナスの代わりにハーピーを、四天王ではウィッチの代わりにパキスタを選択していた。凝視や整地（もっとも、当時、そのような用語はまだなかったが）が上達するまでは、この方がいいという横えびくんなりの判断であった。

それから18年経った2014年5月。パシオン時代以来、17年ぶりに名古屋でぷよる機会に恵まれた。愛知県へ私が出張することになり、仕事前の休日にBOXQ2へ立ち寄ることができたのである。名古屋滞在2日目はdrapomくん、おっと失礼drapom選手からスコアアタックの指導を受ける機会に恵まれた。先方はもちろん私も自己ベストを更新した直後で、久々にスコアアタックのモチベーションが高まっていた時期でもあった。

BOXQ2はイベントデー以外はフリープレイを採用しておらず、drapomくんは学生だから捨てゲーはしない。若き全一スコアラが、1面の対スケルトンT戦でスコアアタックに失敗したら、次にどのキャラを選ぶのか。彼の稼ぎを動画でしか知らない私は密かに注目していたのだが、drapomくんの選択には我が目を疑いそうになった。ナミキ勢はもちろん、私を含むスコア勢の大半がいの一番に切り捨てたミニゾンビを、躊躇なく選んだからである。



最初は選択ミス、もしくは捨てゲーの前準備かとも思ったが、ステージ開始直後にそれが間違いだと気付いた。d r a p o mくんはまったく諦めておらず、むしろ嬉々としてミニゾンビの暴走を宥めにかかったのである。予想外の展開に、凡才の私はかつての談義内容を思い出しつつ、ぼんやり見守ることしかできなかった。

整地と伸ばし、整地と精緻と伸ばし。普通なら潰れているであろう局面を何度も乗り越え、最難関である画面外の捌きも、ギリギリの凝視と操作でオールグリーンの状態をキープ。最後は配色が噛み合わず16連鎖で妥協発火したが、挑む気すら起こらなかった2面ミニゾンビに、k e n n y式で真っ向勝負を仕掛けていった様子は、ただ美しいとしか言えなかった。

年長者のつとめとでも言うべきか、一応2面ミニゾンビ説に異論を唱えてはみたものの、何やら小難しいことを言われ、手も足も出なかった。その口調は極めて穏やかではあったが、私などとは見えている景色がまるで違うことを再確認せざるを得なかった。

スコア講座終了後は名古屋名物、手羽先の山ちゃんにて一席。会話内容の多くは、インタビューのそれと重複するためここでは省略するが、黎明世代からの蓄積、スコアラーのセオリーを根こそぎ否定するが如き第一人者のプレイングは衝撃であったし、若き王者の時代を体感せざるを得なかった。この男は何を考えてぶよるのか、今後どこまでスコアを伸ばすつもりなのか、何もかもを知りたくなったのは必然だった、と言えるかもしれない。

「ぶよぶよ1989～2011 ミスケンインタビュー1丁目2番地3号”アンケートネットワーク、2011年7月に配信開始した有料版を入手された皆さまにご意見を募集しました」

「多数のご応募、ありがとうございました。なお、“ぶよらーインタビュー集”のアンケート集計結果はミスケンインタビュー123収録のアンケートネットワークを、本コーナーのネタバレを回避したい方は同作品を最後までご一読ください！」

(BGM:MSX版ディスクステーション “アンケートネットワークのテーマ”)

質問1. ミスケンインタビュー1丁目2番地3号「これはすごい」

- 1位 ミスケンインタビュー (後編)
- 2位 ミスケンインタビュー (前編)
- 3位 1997 世代交代の嵐
- 4位 ENQUETE NETWORK (前編)
- 5位 コラム ぶよらーたちの食生活

「予想どおり、ミスケンインタビューに票が集中しましたね」

「“ひとり三票中、ミスケンインタビューは一票まで”と制限したのですが、それでもダントツ」

「でも、中編のみベスト5には入らなかったのだよなあ・・・」

「これだけだと、前後編しかないと思われそう」

質問2. 次回作に収録するインタビューを一度だけ実施するとしたら、誰に行うべきだと思いますか？(日本国内限定、最大ふたりまで)

- 1位 k a m e s t r y
- 2位 A L F
- 3位 m o m o k e n
- 4位 t o m
- 5位 p o p o

「k a m e s t r y 選手の圧勝、その後も超上級者の目白押し」

「コンビでは、k a m e s t r y & A L F コンビが唯一複数票を獲得しました」

「p o p o 選手はインタビューできないでしょ！そもそも日本人なの？」

「できたらすごいけど、記事に仕上げるのがタイヘンそうです」

質問3. あなたの手元に1億円があり、1年以内にぷよぷよのためだけに遣って構わないとしたら、どのような活用を考えますか？

「アツいご意見が多かったので、代表的なものをいくつか挙げてみました」

- ・各地の対戦会に行って、日本中のぷよら一達とアーケードぷよ通e t cで対戦したい。そのための宿泊費等に1億円使う。(d a i d a r o s u)

- ・いろいろなところに遠征に行ってみたいですね。1億円も使いきれないですがw (ズバ)

「これはアツい、1年で使い切れるかな？」

「相当贅沢できそうだけど、遠征後に金銭感覚がおかしくなりそう」

「続いて、イベント実施派のご意見を」

- ・プロ制度の基金にします。(常磐五路郎)

- ・ぷよぷよの国際大会をやります。(M A K I)

- ・ぷよを極めてる人ってあまり一般に認知されてないと思うので、CMなどメディアに有名ぷよらーを出演させて(もちろん本人の承諾が得られればですが)初心者向け対戦会を宣伝。

賞金付きの大会を開催。各地の休憩スペース、電車の宣伝などに謎ぷよ設置。

ぷよのキャラでダンジョンR P Gを出したら面白い？

ぷよ関連のグッズ。(ぷよまんなど食べ物と相性が良い気がします)

ヨーロッパ、アメリカへの進出。

資格としてぷよぷよ検定を作る。

老人のボケ防止のゲームに活用。(和樹)

「ちょ、和樹選手多すぎ！これは予算オーバーですねえ」

「いくつかは、セガ公式イベントやレッドブル5 Gで実現してません？“ぷよのキャラでダンジョンR P G”は、ぷよぷよクエストで大正解ですね」

「最後に、ファンサービス派のご意見を」

- ・セガから出ている最新作を買い無料配布。2万本は買えると思うのでセガも儲かり、ファンになってくれる人も増えるかなと。(y u y a)

- ・仕事を辞めてぷよぷよ通の開発。(白い悪魔)

「無料配布か！その発想はなかった」

「A K B 4 8 ファンでも2万本は難しそう」

「しろま会長は流石の一言」

「ズバ邸に新バージョンのしろまぷよ通を設置すれば、全国から廃人が押し寄せてくるかも？」

質問4. タイトルロゴ、“ミスケンインタビュー123”はある洋画作品が元ネタとなっております。作品名はご存知ですか？

「正解者はゼロ人でした・・・そこそこ有名な三部作なのですが」
「わかった方はご一報ください。最初に正解した方には粗品を進呈します」



質問5. テレビゲームを除く競技・遊戯・ギャンブル・スポーツ等で、ぷよぷよ好きに勧めたいものとして思いつくものはなんでしょう？

- 1位 麻雀
- 2位 将棋
- 3位 テニス
- 4位 なし
- 5位 楽器演奏

「麻雀の圧勝。少し離れて将棋」
「テニスは、少し意外でした。“なし”も結構多かったですね」
「インタビューでも、この辺は結構意見が割れていましたし・・・」

質問6. 他の頭脳競技と同様、ぷよぷよA Iの研究が各所で進んでいます。ぷよぷよ通ルールのA Iが人間のチャンピオンに100本先取戦で勝つとしたら、何年（もしくは何ヶ月）後になると思いますか？

「アンケートを集計したのは2011年末～2012年はじめ頃、現在より4年近く前です。タイムラグがあることを前提でお読みください」

・A Iがどのくらい強いかは分かりませんが、研究次第で意外に早い気がします。将棋より真面目に研究する体制があれば、将棋より早いと予想し、5年後と見ます。（K島）

- ・なんとなくだけど、2年後くらい？（お茶県）
- ・人間が勝ち続けると思います。（MAKI）
- ・開発ペースが順調なら1年後。（白い悪魔）

「プロ棋士が完敗を喫した電王戦は衝撃でした、連鎖界は果たして？」

「しろま会長、予想を自身で覆していますよ！」

「momoken VS にいな の頂上決戦をレッドブル後援で是非是非」

質問7. お気付きになった点、次回作へのご提案、ミスケンへのメッセージ、ダメ出しその他諸々で何かございましたら、ご記載をおねがいします。

・いろんなレベルのぷよらーから統計を取ってほしい。趣味、ぷよを知ったきっかけ、モチベが下がる時や上がる時とか。（お茶県）

・ミスケンインタビューの最後の質問の答えが、とても印象的でした。未熟なイチぷよらーとして、とても考えさせられる文章であります。（和樹）

・各アーケード対戦会の苦悩、問題、歴史が知りたいですね。特に問題に関しては、表面的なことではなく突っ込んだ感じのお話が聞きたいです。（yuya）

「今回も多数のご意見、ありがとうございました！」

「西日暮里バーサスの2回転店長からも、ご感想を頂いております。詳細は、[こちら](#)をご参照ください」

「前回みたいなオチはないの？」

「ナシです。強いて言えば、今作の感想がないと次回作はこのコーナーがなくなってしまうです！」

「おたよりちょーだーい！」

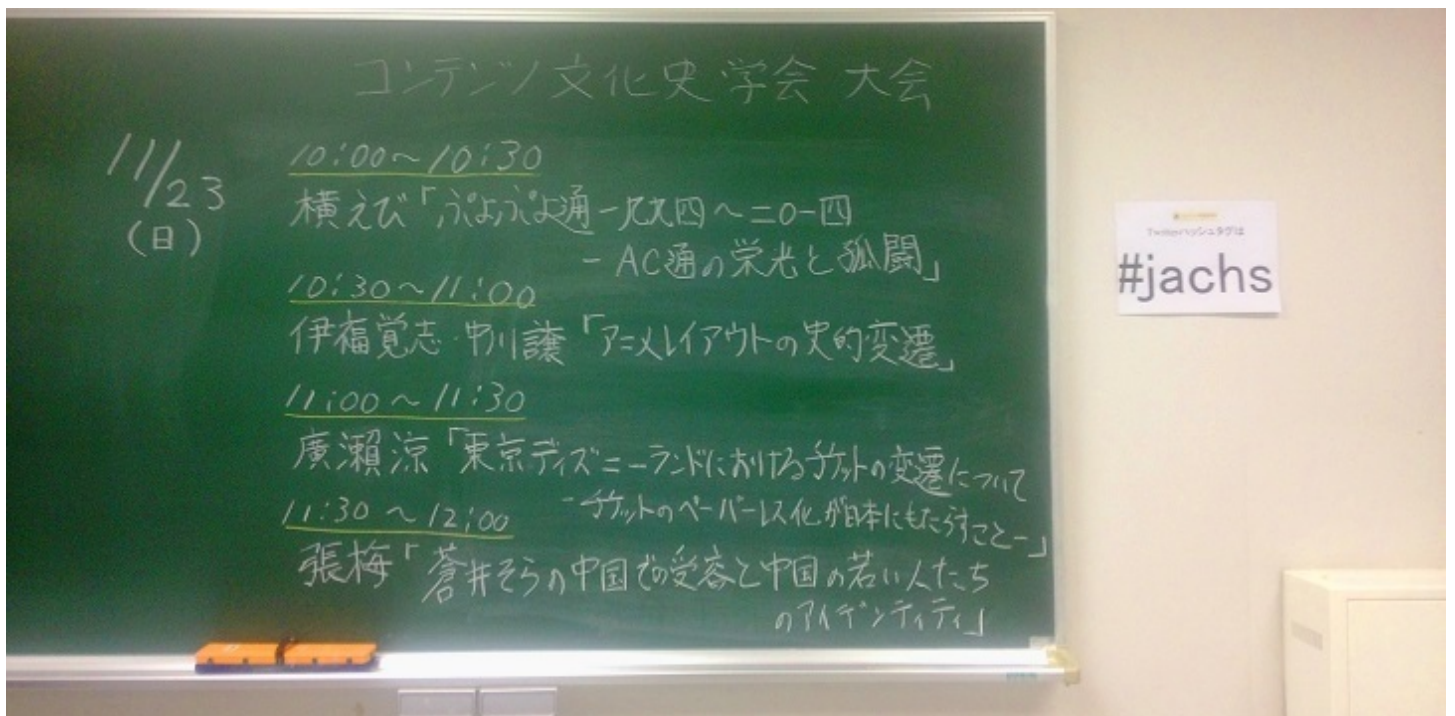
「そのネタ、今の人に通じるの??」

ここ数年は、主に秋から年末にかけて学術絡みの活動機会が多くなった。

各大学での電書配信や、研究発表。無学な私に場を与えてくれている皆様、特にコンテンツ文化史学会には足を向けて寝られない。

半ばなりゆきでこうなったとはいえ、我ながらオソロシイ分野に踏み込んでしまったものだ。大学院卒ではないから学術知識はないに等しいし、選手として飛び抜けた実績があるわけでもない。徒手空拳に近い状態で連鎖界の代表を気取るわけで、一步間違えればあらぬ誤解を与えただけで終わってしまいかねない。「いやー、失敗しちゃいましたー！」では済まされないのである。成算がまったくなかったと言えは嘘になるが、ある程度経験を積んだ現在もおっかなびっくりの連続である。

専門分野とはいえ生活のかかった仕事ではないから、薄い本を作る方々と同様に空き時間に少しずつ少しずつ資料を貯めていく。日の目を見るものがあればボツになるものもあり、ガツガツの専門ものよりも少し肩の力を抜いたものの方が一般受けする（採用率が高い）ようである。だいたい毎年7～9月頃に「こんなのありますけど、どーですか」とメールもしくはツイッターで宣伝し、「やっていいよー」と言われたものに限り秋から年末にかけてプロモーションを実施することとなる。



2012年12月のコンテンツ文化史学会大会、ぷよぷよA1発表は特にタイヘンだった。私は石川県民、共同発表者にしてぷよA1研究家のtest__lockitさんは神奈川県民。発

表用の予稿・スライド・ミニ動画等の作成は休日や平日の両者の仕事終了後にスカイプにて打ち合わせしたのだが、すべてをネットで済ますのは無理があった。そのため11月に一度帰省し、サントロペ伊勢佐木町で合流。立会人として白い悪魔会長を交え、近くの喫茶店にてああでもないこうでもないと検討したりもした。

苦勞の甲斐あって、と言うよりtestさんの見事なAI解説が奏功して発表自体は大成功だったのだが、個人的にきつかったのは発表終了後だった。翌日は月曜日だったため石川方面の終電、具体的には上野発18時18分発の上越新幹線に乗る必要があり、そのために学会大会を途中で抜け出さなければならなかった。大会終了後は運営側との懇親会にも誘われていたのだが涙を飲んで断念、この日行われていた衆議院総選挙の結果をツイッターでぼんやり眺めながら6時間がかりで下宿へ撤収せざるを得なかった。

異変に見舞われたのはその翌日である。発表準備から解放された影響か、全身の猛烈な寒気と頭痛に苛まれ始めたのだ。最初は1日眠れば治るだろうと思ったらさにあらず、火曜日と水曜日の午後、そして木曜日は全日休むハメになった。体調不良で1日以上連続で休んだのは某ファミリーレストラン時代以来で、職場に少なからず迷惑をかけてしまった。背伸びし過ぎると、必ずと言っていいほどしっぺ返しを頂戴する。分不相応の世界に溶け込むのはなかなか難しい。

2013年12月の発表（IPSはなぜ潰れないのか？—石川をぷよぷよで染める会 17年のキセキ—）は港区高輪の東海大学で、翌2014年11月の発表（ぷよぷよ通1994～2014—AC通の栄光と孤闘—）は同じく東海大学高輪キャンパスで実施した。いずれも私が温め続けていたテーマで、発表資料は自分でも驚くほどあっという間に出来上がった。反面、制限時間（質疑応答を含め30分）以内に収めるため、蛇足と思われる部分を徐々に削っていく作業にかなりの時間を要してしまった。発表本番でも前半部分で時間を浪費し焦ったが、途中からトバし気味に進めなんとか体裁を保つことができた。

昨年の発表は私が午前のトップバッターだったため集客数が心配だったが、ありがたいことに過去3回とほぼ同数もしくは若干少ない程度で、私の発表だけを観に来てくれた方も何人かおられたのは涙が出そうになった。本職の研究者の皆さまの発表欲を、僅かながら垣間見ることができたような気がした。

ゲームコンテンツの研究発表は、他分野のそれに比較するとまだ前例が少ない。開発者でも販売者でもなく、いちゲーマーに過ぎない私の発表はプレイヤーとしての体感や皮膚感覚をメインに据えざるを得ず、それ以上のことはできないし必要ないと思っている。今後も学術的なオファーをいただけるかはわからないが、ノウハウが枯渇しない限りアカデミックな発信を続けていきたい。



（ここから先は余談）

ぷよぷよA1発表予稿の冒頭に名前を挙げさせていただきました日本将棋連盟会長こと米長邦雄永世棋聖は、発表2日後の2012年12月18日に逝去されました。将棋ファンの私にとっては雲上人であり、およそ将棋という枠にとどまることのない破天荒な人物でございました。四冠達成、最年長名人奪取といったプロ棋士時代の活動はもちろん、現役引退後の連盟立て直しやプロ編入試験制度や電王戦発足は、米長会長でなければできない仕事だったことは疑いありません。

2013年発表と同日、高輪からほど近い新橋某所にて、旧ナミキメンバーを中心とするぷよ通黎明世代による忘年会が開催されました。90年半ばのコンパイル黄金時代を中心に活躍した方々、すなわち私の学生時代のライバルや目標としていた諸先輩方が一堂に会し、旧交を温めるという趣旨だったらしいのでございますが、私はその存在を開催翌日まで知りませんでしたトホホホホ・・

アーケード版ぷよぷよ通が誕生して21年。AC通の100万スコアラーは、引退した人間を含めると全国に約50人いると言われている。将棋界で言えば奨励会三段リーグ、プロ野球で言えば2,000本安打を突破するようなもので、7桁スコアを突破して初めてスコアガチ勢の仲間入りをするといいだろう。100万の壁を破れぬまま断念した者も多いし、対戦全国チャンピオラスでもスコアガチ勢を名乗るのは容易ではない。技術レベル向上やバーチャルコンソール版ぷよ通の普及によりハードルは下がりつつあるものの、100万スコアラーの希少価値は現代も高水準を維持している。

2015年1月5日。[自宅基板ぷよ通にてスコアアタック自己ベストを約9万点更新](#)し、全国で19番目の110万スコアラーになった。

私が100万点を突破したのは2002年8月だから、そこから10万点上積みするのに12年5ヶ月を要したことになる。歴代110万突破者の中ではワーストペースであり、この大記録(?)を破る人間は今後現れないに違いない。

12年間、スコアアタックをサボっていたわけでは決してない。2002年から2007年にかけては、僅かずつではあるが自己ベストを何度か更新していた。しかし2007年以降は現状維持もおぼつかなくなり、2008～2010年は100万突破はゼロ。2011年9月に秋葉原Heyで一度出せたものの、サタン打倒時は100万に届いておらずタイムボーナス追加で辛うじて大台に到達。言わば“お情け100万”とでも言うべき代物で、ホッとしたのと同時に悔しい思いを強いられたものである。

2014年に、扇ヶ丘レジャーセンターにて自己ベストを31点(!)更新した。ラストのサタン面で9連鎖を発火し「やったー!107万!」と思ったつもりが途中で読み抜けをやらかし7連鎖で止まり、観戦者ともどもズッコケてしまった。歳月が経ちすぎていたため以前の自己ベスト下三桁の数字を覚えておらず、白い悪魔会長からおめでとうメッセージが届くまで、否届いた後もヤキモキさせられた。それもこれも、我が鍛錬が至っていない証拠である。まったくお恥ずかしい。

私が目標にしていたスコアラーは、ひげぷよまんでも白い悪魔でもdrapomでもない。常に意識していたのはセブンアイランドの“旦那”こと、凡ミスしまくり物体X(BSX)ーMURさんだった。と言っても現役世代の方々は、「ビイエス・・・誰だっけ?」と思われるかもしれない。アイランドぷよ通では最古参メンバーのひとりであり、私と同年で、アイランド勢では初の100万到達者だった。一時期ではあるが、旦那と私はスコアアタックを競い合っていたことがあった。と言っても僅かなリードはアッと言う間に追い抜かれ、旦那が最終スコアに達した時、彼我の差は30万点をオーバーしていたのだが。



B S X－M U Rさんが最終スコア（１０９万点）を達成した１９９９年初頭は、全一スコアは確かまだ１１５万点くらいだった。これはご本人から直接聞いた話だが、自己ベストを達成した日は過去にないハイペースに恵まれ、ルルー打倒時点で自己ベスト更新が確定。予想だにしない急展開、指呼に迫った１１０万点台、次で１１連鎖を成功すれば全一更新。サタン面開始直前、これらが突如凄まじいプレッシャーとなって我が身に襲い掛ってきた、そうである。

意味のない結果論になるが、B S Xさんは１１０万スコアラーになれるチャンスを自ら放棄してしまった。すなわちこのスコアは最後にサタンに殺されたもので、大連鎖（高得点）を狙わず最速クリア（中連鎖プラスタイムボーナス）のみに的を絞れば１１０万達成は容易だったし、現代ならその選択肢は十分にアリだと私も思う。

しかし繰り返すが、サタン到達時１０９万は自身が全一スコアを狙える位置にあることを意味していた。もしここで１１連鎖を達成すればスコアチャンプの座が転がり込んでくる、およそスコアラーを名乗る人間にとってこのシチュエーションは禁断の果実であり、イチかバチかの賭けに出たのは当然の選択だったと思う。

話が横道にそれてしまった。歴代スコア十傑（２０１５年夏現在で１２３～１４４万点）メンバーにとって、１００万点台や１１０万点台は通過点のひとつに過ぎない。上位ランカーの中には１００万を突破してから１ヶ月で１１０万に到達したとか、１００万点台から１１０を飛び越して１２０万点台を達成しましたとか、凡人の私には想像できない暴挙をやらかした廃人が何人もいたのである。新世代の天才d r a p o mは、２２歳の若さで１４４万点に到達した。２２歳当時の私は彼の半分くらいしかスコアを出せていなかったのを考えると、資質の差は一目瞭然と言えるだろう。

最後に、我がスコア更新ペースをご覧いただきたい。スコアアタックをしている方もそうでない方も、我が悪戦苦闘をだいたいは察していただけるのではないかと思います。

１９９４年	４４万点（横浜セガブリーズ）
１９９５年	６６万点（アピタ金沢文庫）
１９９６年	７６万点（ゲームｉｎセブンアイランド）
１９９８年	７７万点（ゲームｉｎセブンアイランド）
２００１年	８５万点（ゲームｉｎナミキ明大前）
２００２年	１０１．２万点（自宅ぷよ通基板）
２００４年	１０１．９万点（秋葉原ＧｉＧＯ）
２００７年	１，０４５，０９５点（秋葉原ＧｉＧＯ）
２０１４年	１，０４５，１２６点（扇ヶ丘レジャーセンター）
２０１５年	１，１３６，９６１点（自宅ぷよ通基板）

（ここから先は余談）

先日、マウス常連にして元ぷよ通スコア全一のＣＫＮさんが、蕨ディトナⅢにて１１１万点を達成されました。ＣＫＮさんが９１万で全一を達成したのは１９９６年ですから、そこから実に１９年を要したことになります。近年のスコア更新者は若手ばかりですが、その中で白い悪魔会長やＣＫＮさん、そして不肖横えびといった黎明世代の粘りにも注目していただければ幸いです。

N P A、パシオン、あんくるT O M、パシュト、アミューズメント新世界、亀ハウス、名古屋大学ぷよぷよサークルじゅげむ、そしてG A M E B O X Q 2。

なごやんぷよを彩る幾多の戦場、幾多の景色、そして幾多の好敵手たち。

ぷよらーインタビュー第6回（中編）

k a m e - s t o r y , d r a p o m ' s d r a m a

聞き手 : 横えび

話し手 : d r a p o m , k a m e s t r y

・頂点への景色、頂点からの景色

————— 今までの活動で影響を与えられた人物、印象に残った試合はありますか？

ドラポン 初期にいちばん影響を受けた人物はしろまささんこと、白い悪魔さんですかね？“R e n s a . i n f o”でしろまささんが活動されていて、すごい人がいる、石川で対戦会を主催されていることを知って。I P Sのサイトでなぞぷよや連鎖集を見たりして、いろいろ影響を受けました。最近ではぐっくるくんですね。2012年に西日本A級リーグのプレリーグが名古屋で行われて、その時にぐっくるくんとF A Lさん、しろまささんとk u r o r o団長と僕が参加したのですが、その時は確か最下位になってしまったんです。それ以降ぐっくるくんとはしのぎを削り合って、ライバル意識を募るようになったと思います。

————— 最近の西日本A級リーグでも、ものすごい接戦だったそうですが。

ドラポン そうですね、49対49までもつれ込みました。

————— もし最後に負けていたら、S級への道が閉ざされてしまったのでしょうか？

ドラポン 閉ざされていました。本当に今まで辛酸をなめさせられ続けてきたので、勝てたのは嬉しかったです。それをきっかけに、最上位への意識を持てば対戦もいけるのかなと。ぷよ通スコアアタックでもほぼ同時期に、H I R Oさんとアルカディア全国1位レースを戦うことにもなって。

k a m e 自分の場合は、誰かというよりも自分で自分の道を究めるという考えでやってきた

ので。誰かに触発されて、というのはあまりなかったと思います。印象に残った試合は、2010年に行われたALFとの“1本先取（100本先取）”ですかね。ニコ動でも1日で10万再生を超えましたし、結果は負けてしまったのですが、あの試合でぷよぷよ対戦の世界や奥深さを沢山の人に知って貰えたことがすごく良かったと思います。それもぷよぷよファンや配信や実況してくださった皆さんがあつてのことなので、感謝していますね。

———— 2009年に、くまちょむ東京移住の出来事がありました。おふたりにとって、これはどうでしたでしょうか？

k a m e それはびっくりしますよね。やっぱり名古屋で長年、ずーっと共に戦ってきたわけですから。

———— 服部選手はいきなりネットで発表したのでしょうか？なごやんメンバーには先におしらせはありましたか？

k a m e 多分、ネットの方が先だったと思います。彼は身内同士の時でも、プライベートな話はあまりしませんから。

ドラポン 当時の僕は、対戦会に参加し始めたばかりの時期で。すごく残念だった気持ちはありますけど、そうですね、個人的にはあまりダメージはなかったと思います。

k a m e 僕から見ると、ドラポンくんが対戦とスコアの両方の頂点を目指しているのはすごいなあと。一時期はスコアばかりずーっとやってきて、かつ現在は対戦でも上のプレイを貪欲にこなすのはすごい！

ドラポン 2014年くらいまでは対戦は一線を退いて、対戦はそこそこにして現実、リアルの方を頑張ろうかなと思っていた時期もあったのですが。

———— それは学業ということですか？

ドラポン 学業ですね。そっちを頑張ろうと思っていたのですが、何かの拍子に急に目覚めたと言いますか・・・

———— バーチャルコンソールぷよ通で、スコア144万を出した頃でしょうか？

ドラポン 2014年1月に出したやつですね。あれがきっかけで、更に上を目指そうという気持ちが芽生えたんじゃないかなあとと思います。

———— 最終面で14連鎖を撃っていましたが、全一スコアを更新するだけなら12連鎖で充分でした。確か、11連鎖でもよかったのではないですか？

ドラポン 11連鎖でも約137万、それでも全国1位は取れていました。

———— それでも伸ばしていったのは、「いける！」という感触があったと考えていいのでしょうか？

ドラポン そうですねえ、でもどちらかと言うと無心でやっていたという感じで、その時は144万を出したという自覚はなかったんですよ。休日の深夜にプレイしていたのですが、ひとりで黙々とスコアをやっていて・・・（14秒沈黙） ごめんなさい、ちょっとうまく思い出せなくて・・・

k a m e 思い出してからでいいから（笑）

ドラポン 実感はなかったですねえ、やっぱり。（9秒沈黙） 後から動画を見直して、「（なんでこんなことしていたんだろ？）」って思ったのはありますね。緊張はあまりなかったのですが、4面ですかね？確か一度失敗していて、あまり記録ペースではなかったので多少博打

気味でも大連鎖を狙ってやろうじゃないかと、そういった気持ちはあったかと思います。

————— それまでの自己ベストは、１３５万にはまだ届いていなかったのでしょうか？

k a m e １４０に達してなかったっけ？

ドラポン いえ、まだ出してなかったです。ただ直前に基板ぷよ通で１３６万は一度出せていたので、そういう意味では狙いに行きやすかったです。

————— 後日ニコ動にアップされて、最後まで繋がるのは分かっているのに見ているこっちの寿命が縮みそうになりました（笑）

k a m e ロクイチじゃまぷよで何度か死にかけていたし（笑）

ドラポン まあでも、ツモなりに組んでいっていましたので、ある程度精神的余裕はあったと思います。

————— 今スコアをやり込みたいと考えている、７～８０万点くらいの方たちに何かアドバイスはありますか？

ドラポン アドバイスですか？そうですね、１面ミスしても１００万点を狙える具体的なペースを頭の中に作ってからあまり無茶をせず、淡々と堅実に作り上げていくのがいいのではないかなと。あまり根を詰めず、自分のやりたいようにやるっていうのがひとつの理想かなと。気楽に自分なりに楽しんでいくのが、いちばんだと思います。

————— ２面でk e n n y式を組むのはトータル何点を超えてから、というのはありますか？

ドラポン うろこさかなびとにk e n n y式を狙うのは、２面でも１７連鎖がほしいっていうのがあって。理由は色々あるのですが、第二折り返しを作った直後に発火しても１５連鎖はあるので、それは案外気楽というか、飽和連鎖量が多く作れる。僕がk e n n y式を狙い始めたのはまだ７０万を達成する前で、前半面で安定して大きめの記録を狙うには１７連鎖以上を組むしかないという結論になって。「ならばどうすれば」という思惑があったのですが、やっぱり飽和連鎖量を大きく狙える、また１面で慣れたk e n n y式だからこそいけるのではないかなと考えた経緯があります。k e n n y式に繋がる半k e n n y式の練習はそれ以前にちょくちょくしていて、そこは案外組むことは苦じゃないなとわかっていたので。それだったら対応の手段を増やしても、k e n n y式を組んでもそこまでデメリットは発生しないというのが、自分なりの結論でした。

————— ドラポン選手は後半面はオーソドックスな階段折り返しを組んでおられますが、それ以外の形を狙うことはありますか？

ドラポン あります。時たま挟み込みも組みますし、ごく稀にですが不定形を。いちばん最後のサタン面では、不定形を組むことがあります。

————— サタン面は階段を組みにくいことが、落下速度で端に置きづらく・・・

ドラポン なりますね。Ｑ２のぷよ通でアルカディア全一を出した時も、サタン面は１１連鎖を不定形で発火しました。不定形でも案外火力は出せるので・・・タブーの型もありますけど。ですから、階段のみを組もうとしているわけではないです。

————— そのあたり、k a m e選手はいかがでしょう？

k a m e 不定形にこだわる理由ですか？それはやっぱり、全ステージ１８連鎖を狙うわけではないじゃないですか。ある程度、１３くらいで妥協したりとか。そういうことを考えると、完

全な定型連鎖に拘る必要はないかなと思っています。連鎖に関してのいちばんは自分の好きな連鎖を組む、これはスコアアタックでなくても対戦においても言えることですが、自分の好きな連鎖を組むのがいちばんだと僕は思っていますので。

・各種活動、人的交流

———— おふたりはぷよぷよ以外のゲームやスポーツを、いくつかやっておられます。ぷよぷよに繋がるような活動は何かありますか？

k a m e 繋がってはいないですけど、“活動”というものでもないかな・・・運動はふだんジョギングしたり、冬はスノーボード、夏はキャンプに行ったり山へ行ったり海へ行ったり。なごやんの人を誘ったり、各地のぷよら一同士で交流を深めたり、そういう活動はしていますね。

———— ぷよぷよにプラスにしようと考えてやっているわけではない？体力を付けて長期戦に備えようとか・・・

k a m e そういう考えはあまり持ってないですね、最近は少し意識してきましたけど。年齢とともに体力が落ちてきているので（苦笑）ぷよぷよでは伝統的な長期戦がありますから、普段からトレーニングしていないと、いざ試合の時に力が発揮できない。体力面やメンタル面は非常に大事ですね。そういう意味では色々やっていると言えるかもしれません。

ドラポン そうですね、ぷよぷよ以外で繋がる、ですか。僕の場合は、他のパズルゲームの対戦会をやっていたことがあります。名古屋はパズルゲームが好きな人が多いので、パズルゲーマーで集まって対戦会をやったり大会を企画したりしていました。

k a m e 関東のC E Fさんという方が“P U Z Z L E M A N I A”というパズルゲームイベントを定期開催されていますけど、そういうのを名古屋でできたらいいかなと思って。

———— B O X Q 2で、別のパズルゲームイベントを開催するということですか？

k a m e そうですね。名古屋でもぷよぷよ以外のパズルゲームを。マジカルドロップはQ 2でもよくやっていました。

ドラポン 2 0 1 3年くらいに大会をやりましたっけ？

k a m e p r o t o nさんという女性プレイヤーの方がマジドロ大好きで、Q 2で店員さんに「マジカルドロップの大会はできませんか？」って働きかけて。で、僕たちもぷよぷよ以外のパズルゲームが好きだったので、「そういうのやるんだ、じゃあ一緒にやりましょう」って話になって。その後は、Q 2対戦会でマジドロとぷよ通を遊んでもらったりしたりしましたね。

———— ぷよぷよテトリスが発売されてからの交流はありますか？

ドラポン ありますね。テトリス勢の方が、名古屋でオフ会を開いたんです。

k a m e その時はドラポンくんと僕となごやんぷよ勢が、4人くらい参加しまして。僕が参加したのは、テトリス勢をぷよぷよに興味を持ってもらい、なごやんに誘おうと思ったからなのですけど。ドラポンくんはその時は？

ドラポン 僕の場合は、確か去年の5月にツイッターで募集を見まして、「こういったイベントがあるよ」って。ぷよぷよは元々やっていますし、テトリスも大好きでアリカのT G M（テト

リス・ザ・グランドマスター) シリーズはゲーセンや家でプレイ環境を整えていました。そういった経緯もあって、この機会だからテトリス勢の方たちと交流を持てたい、と思いました。

k a m e テトリス勢の皆さんをなごやん初中級対戦会に誘って、そこからぷよ勢との仲が深まっていったことがあります。

————— 最近は、レッドブル5 Gやセルバ杯でぷよぷよテトリスの大会が・・・

k a m e ぷよテトが発売されることで、ぷよ勢もテト勢も活動が盛んになっていったのはありますね。

ドラポン 懐かしいですね、最初はぷよぷよ勢の対戦会に合流してくれるとはまったく思っていませんでしたし。

k a m e テトリス勢の方が主催しているので、オフ会参加者の八割くらいはテトリス勢なんですよ。ぷよ勢はアウエーで。でもみんな、ぷよぷよに興味を持ってくれたので、お互いどんなプレイをするのか話し合って、ぷよ通対戦会にも来てもらえるようになって。

ドラポン お互いがお互いの交流と、イベントを開催する、興味を持てもらえるきっかけになりましたね。それをきっかけに、僕も亀さんもテトリスをより深く楽しむようになった気がします。

k a m e 僕はそれまではTGMシリーズしかやっていなかったんで、あのオフ会からぷよぷよテトリスやテトリスの深い世界を知るようになりましたね。



————— 何名かの方から、おふたりへの質問を預っております。

k a m e どんな質問だろう・・・（笑）

————— 4名の方々からご協力いただきました、まずは現役選手の方から。しずぷよ、静岡対戦会総会長のお茶県選手からの質問です。まず、「モチベーションを維持する方法を知りたいです。」

k a m e いきなり難しい質問ですね（笑）それこそ上級者の間で、かなり煮詰まっていることではあると思うのですが・・・ 自分場合はあまり難しく考えずに、好きなプレイをする、飽きないプレイを心がけるようにしています。毎試合まったく違った連鎖を組むなどすることですね。

————— 他人を飽きさせないプレイをすることは意識されますか？

k a m e それはすごく大事にしています。自分はNP Aに入った頃、魅せるプレイをした時に周りにすごくワッと驚かれたり喜んでもらえたりしたことがあって。面白い連鎖を組むと楽しい反応が返ってくる、そこから魅せるぷよをしていくんだと決めて。もちろん勝ち負けも大事ですけど、魅せるプレイをいつも心掛けてやっています。

ドラポン 僕はそうですね、その場の自分に合わせると言うか。やりたくなくなったら、やらないようにしています。僕の場合はスコアアタックと対戦があるので、対戦のやる気がなくなったらスコアに逃げる、本当に逃げるわけではないですけど。スコア出しがつかなくなったら、また対戦に戻ってくるっていうループです。モチベーションが全体的に下がることはあまりないですね。楽しんでやっているとします。

k a m e いろんなやり方があるよね。

ドラポン そう思います。先ほど紹介しましたパズルゲームの集まりもそうですし、S級リーグが落ち着いたオフの期間はぷよぷよテトリスだったりマジカルドロップだったり、パズルゲームをいろいろ楽しんでいます。

————— お茶県選手からふたつ目の質問です。「おふたりが家庭を持った時、現役は続けますでしょうか？」

k a m e それは、その場にならないと多分決められないことですよね。できるまでは続けたい気持ちはありますし、続けるのが厳しくなれば、一時的に距離を置くかもしれません。

ドラポン すぐにイメージが湧かないですけど、時と場合によるのではないかなあと。今目指している職業がプログラマーで、激務が予想されてしまうので、その兼ね合いと家族の過ごし方となると、多分難しいかなと。

k a m e 仕事だけでもプレイに支障が出そう（笑）

ドラポン そうですね、生涯やめる気はないと思いますし、スコアアタックは対戦相手がいなくてもできますので。長い間続けていくのではないかなと思います。

————— みつつ目の質問です。「近々ぷよ界に発信したい、発信する予定であるものは何かありますか？」

k a m e プレイで魅せることをメインにやってきたので、これからもメディアからお誘いがあれば出ますし、あとはニコニコ生放送とか。プレイを発信していくことは今後も続けていくと

思います。あと、ぷよ自伝は作りたいと思っています。

———— k a m e 選手は、初期の頃から顔出しはOKなのでしたっけ？

k a m e あまり気にしないというか、勝手に撮られていましたからね、コンパイル時代は（笑）ただプレイを見せるよりも、人を見せることにより、信頼が生まれたり、そのコミュニティに興味を持ってもらいやすくなると思いますので、僕はどんどん出していった方がいいと思っています。

———— ちなみにしずぷよさんは本日が設立6周年です、おめでとうございます。続いての質問者、S級リーグPVの制作を担当されたm o k a _ _ m s s さんからです。「数多あるゲームの中で、何故ぷよぷよが最上位になったのでしょうか？」

k a m e 自分はやっぱり、見ている人が楽しんでもらえるのがいちばん大きいですね。ぷよぷよの前は対戦格闘ゲームやアクションゲームもたくさんやっていたのですが、それらよりもぷよぷよをやっている時の方が、周りの反応がすごく心地良かった。

ドラポン いやー、僕はもう、やっぱり昔からやっていたということがありますし、改めて考えると難しい質問ですね。僕の場合は、まあ色々あったのですが、人生の一部と言ってもいいのかなあと。そうですね、辛かったこととか楽しかったこととかがぷよぷよと共にあったというか、そういう時期があって。ある意味、ぷよぷよに救われてきたというか、そういう所があるのかなと。だからこそ、ぷよぷよに恩返ししたいと思いましたし、今でもぷよぷよに活路を進めていけるのかなと、そういう心理があるのかなと思います。

———— 次の方の質問です。人気Y o u T u b e r、パズドラ&ぷよ動画配信者のじゃじゃーん菊池さんからです。「名古屋ぷよぷよのあるあるネタを教えてください。」

k a m e （笑）ぷよぷよとは関係ないですが、山や登山と言ったらすけぞーさんが通い詰めている喫茶マウンテンとか。

ドラポン あるあるネタですか（笑）うーん、あるあるネタ・・・ 難しいですね、僕はお笑いとかが禁止された家庭で育ったので、イメージが湧かない（笑）

———— 昔でしたらG T Rや鶴亀連鎖とかでしょうか、最近は名古屋ならではの連鎖ばかり組む人は・・・

ドラポン なんでも麻雀に例えるというのがありますね。連戦する時にキリのいい本数ではなくわざわざ39本先取にしたり、意図的に“ハコる”というフレーズを多用したり。

k a m e 「ハコった」は自分が使い始めた（笑）昔のネタだったら、フィールドにじゃまぷよが10個くらい降っているのに「これは19連鎖組める」とか。

———— （笑）それは不可能ですよ！

k a m e 昔、ぱのおさんが作った「かめの部屋」というサイトに紹介されていたね。

———— 旧N P A用語集は、“負けた時の言い訳”の項目がものすごく長くて、印象に残っています。

店員氏 ソロソロ、らすとおーだーノジカンデスガ・・・

k a m e じゃあ、パイナップルジュースで。

ドラポン どうしよう・・・（9秒沈黙） うん、このグアバジュースを。

————— この、“本日のデザート”をおねがいします。

k a m e 僕もそれいただきます。

ドラポン 僕にもください！（笑）

————— では、みつつで。

店員氏 ハイ、アリガトウゴザイマス。

————— 現在も、初中級者対戦会用の小冊子を作っておられるのですよね。

ドラポン そうですね、1ヶ月に1回ペースで参加者の方向けに。

————— その中には、いかにもなごやんのフレーズとかは・・・

ドラポン いやあ、僕が書くのにはそういうのは（笑）あまりネタに走らず、それなりに真面目に作ってます。あるあるネタとは、あまり繋がらないですね・・・ ネットやツイッター上のネタもそうですけど、最近は情報が整理されて画一化されるというか、普遍化したというか。なごやん独自のものは、今はあまりないかもしれません。古参勢の方が、名古屋独特の空気を作っている感じはありますね。

k a m e それは、若い人が新しい空間を作っていないと！

ドラポン 古参勢とそこで何かしようとは・・・（苦笑）でも今後は、自分たちの世代か、それより下の世代が名古屋の雰囲気を受け継いでいくのは間違いないですね。

k a m e 名古屋は“みんなで盛り上げよう”という気持ちがあるので、それは昔から。ほかの対戦会は団体と言う形ではなく、対戦会に集まった人で行っている感じ。石川をぷよぷよで染める会もそうだと思うのですが、なごやんは団体として、協力して活動している。その辺に違いがあるのかなと。

————— なごやんは世代を超えた一体感がすごいな、というイメージがあります。関東は昔の人は運営にはあまり関わらない、逆に石川は若い人がなかなか・・・

k a m e I P Sは個人宅、ズバ副会長の家でずっとやっていますよね。名古屋勢は和室で持ち込み対戦会や亀ハウス対戦会をしていた時期もありましたが、基本的にはずっとゲーセンの一角を借りてやっているので、運営をやりたいという人はメンバーが入れ替わる時に立候補してもらって、それで助け合っている感じです。

（後編に続く）

いつまでも若くありたいのは皆さんも同じだと思うが、たいへん残念なことに現代医学でそれは不可能事である。

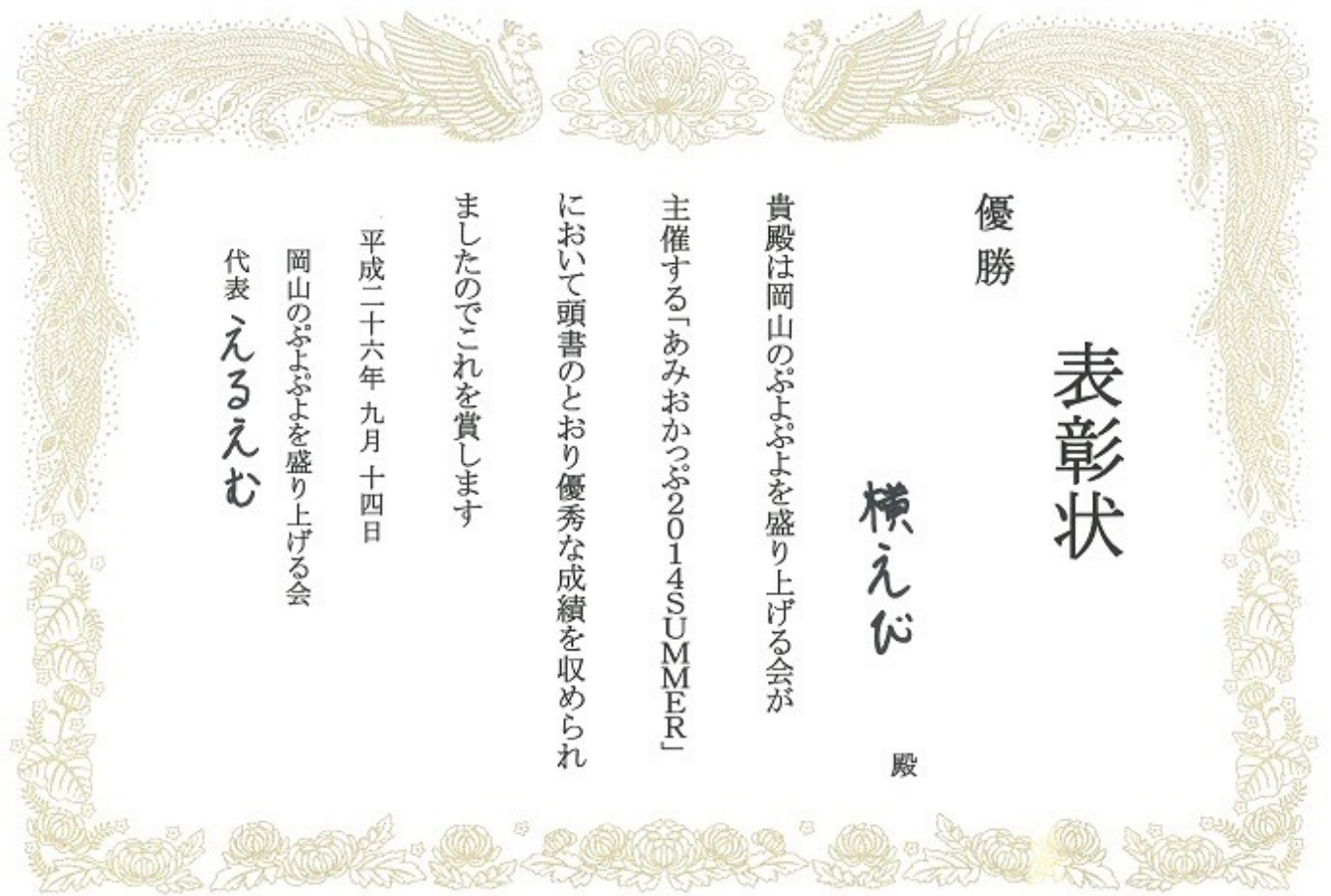
近年は、我が心身も老化の影が顕著になりつつある。全身が引力に負け始めシルエットが丸くなり、体重は自己ワーストを更新し続け、視力は徐々にかつ確実に弱体化し、髪にコシがなくなり、皮膚の傷の治りが遅くなり、持久力がなくなり疲れやすくなった。ぷよぷよに限らずアクションゲームは動体視力が生命線だから、ここにある水準を超えたら強制的に引退となるのであろう。（嗚呼書いているだけで気が滅入る）

アーケードぷよ通は、2015年の現在も若い選手が登場し続けている。彼らの動画や配信は日々ニコニコ動画にアップされており、トップぷよらーと言えど先端技術を吸収しなければ生き残れない。スコアアタックでも対戦でも、キャリアハイを更新し続けたければ現状を受け入れた上でもがき続けるしかない。若者たちの鍛錬を真似るだけで強くなれるほど、甘い世界ではないのだ。

若者が瞬発力の強みを活かしてくるなら、古参兵はベテランのアドバンテージに頼る。それにはまず、ベテランが勝っている部分はどこかを考える必要がある。これは私個人に限定しての話になるが、まずは時間的余裕を失った代償に金銭的余裕を手に入れた。次に社会経験を積むことで神経が図太くなり、少々のことでは動じなくなった。また、長年の悪戦により大局観が身に付き、多少不利な局面でも土俵際で二枚腰を発揮できるようになった。

学生時代は大会はもちろん未知の相手と戦うだけで心臓がバクバクしたものだが、現在はそういうことはほぼなくなった。数値化できるわけではないのでどの程度有効かはわからないが、メンタル面は間違いなく若手時代より強化できている。私の戦い方は古いとよく言われるし自分でもそう思うが、総合的にはまだやれている、はずである。

2011年夏の生誕20周年記念大会を機に、1996年12月のナミキグランプリを最後に15年近くサボり続けていたアーケードぷよ通大会へ復帰した。大会の雰囲気は懐かしくなったのもあるが、自分の中ではある程度勝算があった——後述のバカ勝ちを予想していたわけではない——からだ。



優勝

表彰状

横えび

殿

貴殿は岡山のぶよぶよを盛り上げる会が

主催する「あみおかつぷ2014SUMMER」

において頭書のとおり優秀な成績を収められ

ましたのでこれを賞します

平成二十六年 九月 十四日

岡山のぶよぶよを盛り上げる会

代表 えんむ

アーケードぶよ通大会が開催されるようになった1995年から現在にかけて、我が大会戦績は下記のとおり。

1995年	0勝	1敗（1回出場）
1996年	7勝	7敗（6回出場、4位1回）
2011年	15勝	0敗（4回出場、優勝4回）
2012年	9勝	1敗（2回出場、優勝1回）
2013年	13勝	6敗（4回出場、優勝1回、3位1回）
2014年	10勝	6敗（3回出場、優勝1回）
2015年	13勝	4敗（3回出場、優勝1回、準優勝1回）
（団体戦、不戦勝、エキシビジョンマッチ等は戦績から除外）		

時代が離れ過ぎているため比較は難しいが、十代の大会戦績は7勝8敗の負け越し。うち3回は初戦敗退で、最高でも4位がやっと。入賞時の準決勝と3位決定戦は、共に0-3の惨敗だった。若者のアドバンテージを活かすにはほど遠く、未知の相手と戦う時は心臓バクバクの連続であった。録画していなかったため映像は一切残っていないが、対戦相手や時代とは関係なく試合内容が散々だったのは間違いない。

大会復帰後、2011年7月から翌年6月にかけて五連覇、21連勝を達成した。ポイント勝敗の累計は56-17、獲得率76.7%。内訳は時系列順にクラブセガ秋葉原新館（4勝，9-0）、セガワールド府中（3勝，6-1）、池袋G i G O（4勝，8-2）、仙台プレイランドエフワンR（4勝，14-4）、京都a-c h o（6勝，19-10）。秋葉原と府中は1敗即失格、池袋・仙台・京都の3大会は2敗敗退ルール。優勝を争った相手は、全員私よりも10歳以上年下だった。

連覇時の半分以上（13試合）は野試合と同じ2本先取で、取りこぼしなく勝ち続けるのは至難の業だった。また、フルセットにもつれ込んだのは、21試合中6回。三須健太郎名人曰く、「大会や野試合でまとめ勝ちするコツは、1本差になる前に決着をつけること」だそうである。その話を聞いた時は「（そんな無茶な・・・）」と思ったが、今ならその意味が少しわかる気がする。絶体絶命の場面も何度かあり、池袋仙台京都岡山の決勝は点差を背負ってからの逆転勝ちだった。

自分で言うのもおかしい話だがいくらなんでも勝ち過ぎであり、何故ここまで勝てたのか今でもよくわからない。野試合やレーティング戦で同じ相手と戦えば絶対にこうはならないし、出場者たちの中には全国大会優勝経験者も何人かいた。我が連鎖術は華麗にはほど遠く、操作や凝視が飛び抜けてうまいわけでもない。経験は積んでいるから大崩れは比較的少ないかなと思っているが、これもどこまでの的を得ているか怪しいものだ。強いて言えば、我が即撃ちスタイルが一発勝負の大会では存外有効であるのかもしれない。中盤と思わせて本線発火は現代では邪道とも言われるが、短期戦でそれを的確に咎めるのはけっこう難しい、ようである。

2013年以降は、徐々に戦績が落ち始めた。加齢や実戦不足による衰えかはたまたボロが出始めたのかは、自分でもよくわからない。シャア大佐の台詞ではないが、年齢や環境は決定的差ではないということを、これからも証明していきたい。

（ここから先は余談）

アーケードぷよ通大会で複数試合当たった方は、全部で7名おられます。そのうち4名（さいてつ、T，Tたか、s c o t t i e、N A S）には、現在負け越し状態でございます。さいとうスペシャル宗家のさいてつ老師は既に引退しておられますからやむを得ないとして、他の3名にはなんとしても一矢報いたいところでございます。

また、何度も同じ大会に出場しているのに何故か一度も当たったことがない方も何名かおられます。大会は短期決戦ですからやむを得ない部分もございますが、これからは世代性別を問わずなるべく多数の方と刃を交わせれば、と願ってやみません。

『残業中』

「私は帰る」

「どこへ行く！まだ仕事は全然終わっていないぞ！？」

「バイパスレジャーランド藤江本館へだ。私は帰らねばならぬ」

「させぬ！！」

「金沢では私の帰りを待っているのだ。私は機関の指揮者だ、命令を出さねばならぬ。私は帰らねばならぬ」

「いや・・・あの・・・自分がどういう立場か分かって・・・」

「私にクビの脅しは効かんぞ、懲戒解雇したければするがいい。では、お先に失礼」

「・・・」

『矜持』

「どうする、どうするんだ？鱗魚人はここにいるぞ！！自己ベストを更新するんだろ？？勝機はいくらだ？千に一つか万に一つか、億か、兆か、それとも京か」

「それがたとえ那由他の彼方でも、俺には十分に過ぎる！！」

『くすぶり』

CPUに潰され、友人に殺され、先輩にボコられ、後輩に踏み付けられ、あらゆる連鎖遣い魔達に負け続けてもまだぷよぷよ続ける。俺もお前らも全くもって度し難い程の連鎖狂だな、横えび。

『失われた10年』

「ぷよぷよ普及で雇用と景気を回復させるだと？狂ってるよ、貴様ら」

「ふうん、君らが狂気を口にするかね？内閣総理大臣殿」

「ああそうだ、お前達はまともじゃない」

「ありがたいことに、我らの狂気は永田町が保証してくれるというワケだ。よろしい、ならば我らも問おう。君らの政策の正気は、一体何処の誰が保証してくれるのだね？」

「！！？」

「一体何処の誰に話し掛けているのか判ってるのかね？私がアミティ帽でもかぶっていればよか

ったかな？我々はロストジェネレーションだぞ？一体我々が何年ぶより続けたと思っているのかね？発火催促とタッタカタを呼吸のように行う連鎖集団にかね？イカれている？何を今更！！20年ほど言うのが遅いぞ！！！」

『アーカードぷよ通』

「・・・勝ちましたな」

「当然だ」

「インテグラ！君達はいったい何をやったんだ！？」

「実にオーソドックスな攻城戦を行ったまでです。破壊鎚の名称はk e n n y式、連鎖数は17ですがね。かくして巨大連鎖は発火しじゃまぷよは打ち飛ばされ、柵を破り、塀を超え、うろこさかなびとの催促は悉く整地される。“何が起きているか”？古今東西、敗北寸前の連鎖フィールドで起きていることなど、たった一ツツきりでしょう。それはただただ、一方的な窒息」

『極限状況』

「もう駄目だ、俺達はおしまいだ」

「うるせえ！馬鹿野郎！！」

「もうぷよぷよなんかいやだ！！もう限界だ！コンパイルもセガも俺達を見捨てやがった！！」

「何言ってた、おめエは。どこにも出れねエし、どこにも行かさねえぞ」

「俺は帰る！！もういやだ！！」

「どこへ行く気だ？お前の墓穴はここだぞ。墓標は、この馬鹿デカイ秋葉原G i G O。墓守りはあのおっかねえ横えびのオッサンだ。碑文はこう・・・だ。

『すごくイケメンの連鎖遣い達がぷよ通しまくって、すごく格好良くここに眠る』

だが、お前のせいで変わっちゃう。お前がメソメソしてるから、

『秋葉系の連鎖オタク共、女の様に泣きながらスケTの様にクタバル』

冗談じゃねエ、お前には無理やりにでもカッチョ良く死んでもらうぞ！好き好んで、勉強も仕事もせず、好き好んでぷよぷよやってんだろが！おい連鎖気違い！！だったら好き好んでぷよって死ねや！！！」

『玉砕』

「上陸部隊との連絡が取れません！！往信途絶！！上陸軍第7小隊ブリップ消滅！！」

「呼びかけを続けろ！！」

「財布の中身を全消しされたのでは・・・！？」

「全消しだと！！」

「上昇したエレベーター部隊のブリップが消滅していきます、壊滅・・・ッ！！」

「何が一体起きたのだ、上では一体何が！？」

「少佐！！ 少佐殿！！」

「御指示を！！ 少佐殿！！」

「うるさいなあ、静かにしろ。出し物の佳境ぐらい静かに鑑賞したまえよ。たかが自分の万札が全消しするぐらいで、初めての処女のように泣き出すなんて。艦長！！全艦の残存全乗員に１万円札とおしぼりを分配しろ。負傷兵で立てる者も全てだ、立てない者にはドリンクを配れ」

「しかし・・・しかし全員分の万札もタオルも、最早ありません」

「じゃあ千円札でも５００円玉でもなんでも良い、兵隊は両替して集結だ。あれが終わったら、みんなで一緒にNOV式しよう。楽しいぞ、すごく」

「・・・もううんざりだ！！もううんざりだ。我々はスコアラーじゃない、ナミキ海軍だ。SPDに対する意地で、我々はあなたについてきた。だが、もううんざりだ！！これはもう対戦じゃない、１万円札をこれ以上ドブに捨てさせるわけにはいかない！！」

「ここまで来てまだ、スコアアタックの本質がわかってないのか。ハハ、なんとも物わकारいの悪い。だがまあいい、捨てゲーは稼ぎの華だ」

「少佐殿！！」

「うん。万世橋から突き落とせ、敗北主義者だ。残存兵員に両替させろ、憲兵少尉。命令に従わない者は君の判断に任す。k e n n y式にはハレもケもある、稼ぎの根幹を教育してやれ。ぷよ通ランキングを更新しに来た者は、うろこさかなびとに打ち倒されなければならぬ。それに、作戦はすべて計画通りじゃないか。このランキング争いは、この私の小さなスコアから出たことなど一度もないのだ」

『策謀』

「アーケードぷよ通で、どうやって３面うろこさかなびとに１６連鎖を叩き込むのだ？・・・半k e n n y式」

「NON. 時間が掛かり過ぎます。奴らがこちらのタッタカタにいつまでも静止しているとも思いません。・・・不定形」

「NON. 大口径２ダブや茨単発がある。敵の催促に打ち返さずにいられるとは思えん。・・・まねぷよ」

「NON. 画面上部の超絶設置には対応はおろか真似すらもできませぬ。・・・単発を大量に使用してフィーバーモード突入」

「NON. これはぷよぷよ通の話だ」

「結論は、２トリも３ダブも、茨全消しをも物ともせず、NOV式やk e n n y式を完璧に伸ばし切るこのことのできる、そんな整地だ」

『本望』

「皆笑って死んでいく。そうだ、奴らはぷより死ぬためにぷよって来たのだからな」

「・・・そんなに死にたけや・・・ッ！そんなに死にたけりゃッ！！勝手に首くくれ！！10年前に首くくれ！！」

「そういう訳にはいかんのだよ、お嬢さん方。ただぷより死ぬのは真っ平御免なんだ。それ程までに度し難いのだ、我々は。世界中の全ての人間がぷよぷよを必要となどしていない。世界中の全ての人間がぷよぷよを忘れ去ろうとしている。それでもぷよぷよは、ぷよぷよのために必要なのだ。ただ、ただぷよるのなんかいやだ、それだけじゃいやだ！私達が死ぬにはもっと何かが必要なのだ。もっと合体を！！もっと催促を！！と。そうやってここまで来た。来てしまった！もっと何かを！！まだ新しい連鎖があるはずだ！！まだどこかにぷよれる場所が！！まだどこかにぷよれる敵が！！世界は広く！！連鎖と窒息に満ち！！乱入も発火も肥えて溢れ！！きっとこの世界には我々を養うに足るだけのスポンサーが確実に存在するに違いないと！！」

『殺意』

「オーダーを！オーダーをよこせ！！我が主！！私は殺せる。微塵の躊躇も無く、一片の後悔も無く、初心者ぷよらーやカップル対戦者を塵殺できる。この私は連鎖狂だからだ。ではお前は、お嬢さん？大連鎖は私が構えよう。催促も私が定めよう。2ダブを弾装に入れキーぷよを繋げ、発火装置も私が外そう。だが殺すのは、お前の殺意だ。さあどうする命令を！！」

「言え！！言え！！言え！！言うんだフロイライン」

「言え！！言え言え言え言え言え言え！！」

「言っちゃえ！！言っちゃいなよ！！」

「言え！！言うんだ！！言いなさい！！言うのです！！お嬢様！！」

「乱入必殺だ！！従僕！！私は命令を下したぞ、何も変わらない！我々の邪魔をするあらゆるぷよらーは乱入して潰せ！！全ての障害はただ組み、ヘルファイアで押し潰し、14連鎖で粉碎しろ！！乱入必殺！！！」

「ああ言った！！遂に言った！！言っちゃった言っちゃった言っちゃった！！」

「私は命令を下したぞ！！従僕！！我々の邪魔をするあらゆるぷよらーは乱入して潰せ！！全ての障害はただ組み、キルアイスで狩り飛ばし、17連鎖で粉碎しろ！それがたとえ初心者であっても！！それがたとえカップルであっても！！相手がたとえ、誰であっても！！！」

『本望』

「ぷよぷよは終わりか？私はもう終わりか！？いや！！違う。違うとも。連鎖術はぷ欲を糧に突き進む、研究は飛躍する。否！研究は飛躍した！！どうすればいい、どうすればいい？まだだ、まだ届かない。何がいけない？何が足りない？そうだ！！いつの日か！！いつの日か！！世界の全てに一人残らず発火するのだ。奇跡のような連鎖を！！連鎖のような奇跡を！！」

『我が闘争』

「俺の連鎖はお前のそれとは違う。俺が強い、俺の方が強い。”この世の連鎖闘争の全てはそれが全てだ。ぷよぷよがこの世に生れてからな。君も、君の連鎖は私の連鎖よりも優れていると思っている。風船はとうの昔に割れている。さあ、連鎖をブツけ合おう」

『絶滅』

「よろしい！！ならば・・・堰を切れ！！巨大連鎖の濁流の堰を切れ！！諸君！！第一目標は全連鎖施設！！セガ本社ビル！！ソニックチーム本部！！アイキ事務所！！コンパイルハート事務所！！ステラ・ミュージック！！e t c . l i n k！！立川オスロー！！ぷよえーん！！プレイランドエフワン！！高田馬場ミカド！！新川崎マットマウス！！GAME BOX Q 3！！チャンス笹口！！a - c h o！！ゲオディノス札幌中央！！バイパスレジャーランド藤江！！津田沼エース！！日本ぷよ連盟！！岡山のぷよぷよを盛り上げる会！！早稲田大学ぷよぷよ戦術技術開発研究所！！石川をぷよぷよで染める会！！広島ぷよぷよ連合会！！全ぷよ対戦台、ぷよ対戦団体、全て燃やせ」

「少佐殿！！ゲーム i n ナミキ明大前跡地は？」

「海鮮居酒屋など爆破しろ！！当然だ。不愉快極まる、欠片も残すな」

「ゲームズフェスタ会場はいかがですか、少佐殿！！」

「燃やせ、ぷよバルーンごとだ。有明コロシウム、セブンアイランド跡地、幕張メッセ。全部破壊しろ、不愉快だ」

「“ぷよぷよのうた”は？」

「燃やせ。灼熱のファイヤーダンスもだ、歌の様に」

「東京大会4会場はどうしましょうか？」

「爆破しろ、構うものか。目についた連鎖は片端から潰し、目についた連鎖遣いは片端から窒息させろ。存分に伸ばし、存分に潰せ。連鎖界の全ては、今宵諸君らの晩飯と成り果てるのだ。さあ！！諸君！！発火したり発火されたり、潰したり潰されたりしよう。さあ、乾杯をしよう。宴は遂に今宵此の時より開かれたのだ！！！」

『宴』

そうきつと。

今日今夜のレッドブル5 Gは、彼ら連鎖遣い達の満願成就の一夜の夢なんだ。

『剥夢』

「横えびや・・・起きなさい！横えびや・・・」

「・・・・誰だ・・・あんた？」

「ワタシは連鎖の神様、ぷよぷよの精です。今日は頑張っている君に、このワタクシ
応援をしに参りました。さあ、この連鎖ゴッドになんでも言ってみなさい！」

「そ、それじゃあ連鎖の神様、ひとつだけ聞きたいことがあります！私はこの23年間、万年連鎖中毒でそれはもうひどい有様です。やっと少し強くなったかと思うと死にかけたり対戦台が亡くなったりフラれたり田舎にトバされたり店がツブれたり若手に踏み付けにされまくったり、この先もずっとこんな状態が続くのでしょうか・・・？」

「・・・・・・・・まーね」

「・・・・イ、イヤアアッーッッ！！！！」



黎明期の初代ぷよぷよには、容量節約のため連鎖発生時や敵キャラ登場時のサンプリング音声の一部もしくは全部が収録されていないものがいくつかあった。たとえばアーケード版初代ぷよぷよにはルルー登場時の声が入っておらず、初めてルルー面に到達したときは「（あれ？バグかな？）」と勘違いしたこともあった。

初代ぷよ、特にファミコン及びMSX版ぷよぷよにはサンプリング音声が入っていなかったせいか、ぷよぷよ音声の元ネタが1989年製のMSX版元祖魔導物語にあることを知らない対戦ガチ勢は、現代のみならずぷよ通黎明期でも多かった。知らないというよりも、無関心に近かったと書く方が正確かもしれない。MSXクラスタの私は、そのことで何度かもどかしい思いをさせられたものである。



第二回超波杯@SUPERWAVE静岡店、2015年5月3日。

(画像提供：[しずぷよ](#))

本題。どのような理由でそうなるのかまったくわからないのだが、アーケードぷよ通では、ごくごく稀に連鎖発生時のサンプリング音声がかットになることがある。私の知る限り、フリープレイ対戦やスコアアタック（ひとりでぷよぷよ）ではカット現象はどうやら起こらない、らしい。乱入対戦である程度勝敗を重ねる（クレジットを投入し続ける）と、あるタイミングで突然起こるようである。

こういうことを書くと、「また年寄りがテキトーなことを・・・横えびの耳が遠くなっただけじゃないの？」と思われる方もいらっしゃるかもしれない。しかし目と頭と顔はともかく耳はかなりいい私（何を書いているんだ）は断言するが、これは紛れもない事実なのである。発生率が極端に低いため、ぷよらーの大半が気付いていないだけだ。

最近だと、2015年4月12日のマットマウス日曜対戦会で5セット中真ん中の対戦台が15時半頃にノーサンプリング状態となっていた。対戦開始直後はふつうに音声が出ていたから、いつの間にかにカットされたものと思われる。マットマウスに限らずゲームセンターという場所は静寂にはほど遠いから、ネット配信でもしていない限りは特定の音が消えてもすぐには気付かれない。この時も同様で、最初に気付いた私が「声が出なくなったね」と指摘しても、周囲の反応はそれほどでもなかった。処理が重くなったとか画面の色が変わったとかとは違い、試合進行自体に不具合はほとんどないからだろう。

個人的な話になるが、サンプリングがカットされるのは少し困る。凝視力が足りていない私は連鎖音声でカバーする（誤魔化すと書く方が正確かもしれない）ことが多々あり、それがなくなると地味に痛い。すなわち相手の攻撃は必ず目視で確認せねばならなくなり、相手フィールドを見れていないのがバレバレになってしまうのだ。そういう意味では、大会やレーティング戦で私と当たっている方は、いかにしてノーサンプリング状態に持ち込むかが鍵になる、かもしれない。（ホンマかいな）

今回は私の知識のみをソースにしているため、不確かな情報であることを承知でつらつら書かせていただきました。専門家の皆様さま、補足修正があれば是非弊社までご一報をおねがいたします。

（ここから先は余談）

アーケードぷよ通には、通称“オーム台”と呼ばれる代物がございます。

単発時の「えいッ」の代わりに野太い男声で「オーーム！！」と叫ぶ謎仕様、2連鎖以降も野太い男声が以下略でございまして、ゲームinナミキ明大前で初めて耳にした時は自分の耳がぶっ壊れたかと思いました。ぷよ通りリリース前後はオウム真理教の無差別テロ事件と強制捜査が世間を騒がせていた頃で、ずんずん教の野望じゃあるまいしこんなものをよく流通させる気になったなと呆れたものでございます。

最近では存在を聞かなくなり流石に絶滅したかと思っておりましたが、2011年の20周年大会にて某セガ店舗が久々に担ぎ出したという話を聞いた時は腹を抱えて笑ってしまいました。もし現在もどこかでオーム基板の存在を確認されましたら、是非是非ご一報を！

ぷよぷよで対戦したことのある方なら誰でも、難易度を間違えて選んでしまったことがあると思う。言うまでもないことだが、辛口対中辛は辛口側にかなりのハンデである。辛口を選んだ人の中には、最初から勝負を諦め窒息してしまう方もいるくらいだ。しかし戦いもせずに投げてしまうのは、あまりにも勿体ない。連鎖遣いならば、最後まで勝利を追い求めるべきである。（ただし出だしが2手全消しの場合は、流石にどうしようもない。運がなかったと諦めるしかない、と思う）

どうすれば、辛口で中辛に勝てるのだろうか？まず正面からの戦い、特に連鎖数勝負では辛口は中辛には逆立ちしても勝てない。ガップリ四つに組むような展開はジリ貧に陥るので、これは絶対に避けなければならない。ではどうするか。辛口が中辛に勝っているほとんど唯一の部分、すなわちスピード勝負で相手を徹底的に引っ掻き回す。牛若丸対武蔵坊弁慶をイメージし、偉大なるモハメド＝アリの如く蝶のように舞い蜂のように刺す。これしかないと思う。

辛口の落下速度は、中辛のそれと比べるとかなり早い。（同様に、激甘の落下速度はけっこう遅い）おまけに辛口側は、最初からじゃまぷよを背負っている。見方を変えて考えれば、辛口側の補給線、すなわち画面外から床への距離は中辛のそれに比較するとかなり短い。ノンストップでガンガン伸ばすことができれば、それなりのアドバンテージになる、はずである。

辛口側は初手天元からガンガン積みまくり、敵にスキがあれば（と言うか、なくても）細かい連鎖をドンドン仕掛ける。これに対し中辛側は受け潰しを狙うか、乱戦を受けて立つかのどちらかを選ぶことになると思う。前者を選ばれると、辛口側としては正直キツイ。従って辛口側は、可能な限り後者を選んでくれるような局面に導いていきたい。乱戦になれば、中辛側のミスも期待できる。落下速度が有利な辛口側にも、勝つチャンスが生まれるからである。私自身の経験から言えば、辛口からの逆転勝ちの殆どが乱戦からの拾い勝ちだった。これは私の想像だが、他の同業者の方も同じではないだろうか。

全国トップクラス、それも限りなく互角に近い者同士が中辛対辛口で戦うとどうなるのだろうか。「そんな対決はあり得ない」と一蹴されてしまうかもしれないが、もしそういう企画があれば是非見てみたい。あくまで想像だが、辛口側の研究を徹底的に積み重ねれば10番の内1番か2番は必ず勝てると思うのだが・・・

速度差を活かしたスナイパー、じゃまぷよを極限まで使い切った発火催促やキャンセル。トップぷよ一故の凄まじい逆転劇が見られると思うのだが、果たして??



（ここから先は余談）

将棋界では、初期の王将戦七番勝負は三番手直りの香落ちルールがございました。すなわち3－0もしくは4－1になった場合は番勝負は決着し、次局はリードしている側が左の香車を落として指すという一種の罰ゲームでございます。香を引かれた側の屈辱感は凄まじかったらしく、時の名人やA級棋士が何人も負かされたのでございます。将棋史に名高い“陣屋事件”につきましては、将棋ファンの方は是非知っていただきたく思います。

また、先崎学八段（現・九段。“3月のライオン”監修役としても有名）は、専門誌で駒落ち戦の連載を持っておりました。その中でプロ棋士同士の早指し駒落ち十番勝負が行われたのでございますが、先崎八段は木村一基七段（現・八段。3月のライオンの島田八段のモデル？）になんと角落ちで敗れ、そのショックで先崎八段は連載を中断してしまいました。このような事態は予想外でございましたが、現代のトップ棋士でもこういうことが起こり得るのでございます。

初夏のなごやんに夜の帳が降り、第一人者たちの対話はより深みを増していく。

業界内外からの声、ファンサービス、セガ公式への要望、かめ疲れてきたな、S級リーグへの想い、モチベーションとプレッシャー、今後何を発信するのか、ぷより続ける意味とは??

現代の最強者2名、インタビュー完結編をどうぞ！

ぷよらーインタビュー第6回（後編）

We Are the Champions

聞き手：横えび

話し手：drapom, kamestry

・あの人からの質問

————— それでは最後のひとり、大御所に出てきていただきましょう。三須健太郎名人からの質問です。

ドラポン うわっ！！ミスケンさん！

kame まさかの（笑）

————— 全部で四点あります。まずは、「トップを目指す上で、大切にしていることはありますか？」

ドラポン なんだか、剣が刺さるような質問ですけど（笑）難しいですね、大切にしていること。

kame 自分はやっぱり、誰にも負けないものをひとつ創って、それに絶対の自信を持っていることですね。連鎖力や発想力はそれなりに自信を持っています。前向きに、「自分は出来るんだ」という気持ちを持つことが大切ですね。

ドラポン 僕ですか？少し考えさせてください・・・ 僕の場合は、遊び心を忘れないことが重要だと思いますね。スコアアタックにしても連鎖の形をひとつに定めることなく、階段積みという形はありますが、その中で・・・

————— それは先ほど言われた、対戦からスコア、スコアから対戦という流れということで

すか？

ドラポン　そうではなくて、遊び心を忘れない中に、こだわらなければいけない所はしっかりこだわる。一度気になった部分は極力そのままにしておかないで、かつ思いついたアイデアは積極的に実行していく。少し両極端な部分もあるのですが、遊び心を積極的に取り入れていきながらも守らなければいけない部分はしっかり守るように心がけています。あとは、自分自身の環境をしっかり確保することですね。家からBOXQ2の距離が近かった時期は対戦会に毎週通っていて、技術を競い合っていた時期が自分自身がいちばん成長していた実感がありますので。より良い環境を創るということを大切にしています。

k a m e　あとはもうひとつ、体調管理に気を遣うことですね。これはデカい、絶対。いちばん大事かもしれない（笑）

ドラポン　僕もそれは、すごく気を付けているのですがね。本番に弱すぎて、自分はダメです（笑）

—————　続いてふたつ目の質問です。「ぷよぷよを続ける上で、今苦労していることはありますか？」

k a m e　積極的な訓練がなかなかできないことですね。プロではないので深く考えても仕方ないのですが、S級リーグなど大切な試合があるときに自分が納得できる試合ができないと、凄いストレスになるんですよ。

ドラポン　・・現実との兼ね合い、もうひとつはストレスの解消ですね。何かしらのストレスを受ける、原因は色々あるのですが、これにどう対処するか。最近は、裾野を広げて考えるようにしています。

—————　みつつ目の質問です。「ぷよ界を発展させる上で、常々意識していることはありますか？」

k a m e　僕はプレイヤーとしてずっとやってきて、プレイを見て楽しんだり、喜んでもらったり感動してもらって、そういったことは常に心がけてプレイしていますね。

—————　そう言える人は、ごく一部ですからねえ。

k a m e　自分はそれしかできないので（笑）

ドラポン　僕自身が発展させているかと言われると自信ないですけど、僕の根底にあるものはやっぱり、楽しんでいてもらいたいなっていうのがあるのと、やっぱり向上心を忘れないで取り組んでくれればなあと。何に対しても何かしらの疑問を持って、こうしたらいいのではないかと意識しながら発信していこうと心がけています。

—————　ミスケンからの最後の質問です。「今後のぷよ界の発展の上で、今足りないなと感じているものはありますか？」

ドラポン　最近は各地でもイベントや対戦会が発足してきているので、結構贅沢になってしまった気もします。その中でも、足りないと思うものはちょくちょく思い浮かぶ筈なのですが。

k a m e　今のぷよ界は、まとまりがあまりないような気がします。たとえばアーケードであったり、コンシューマールールであったり、コミュニティ間の一体感が足りないのではないかなあと。

—————　全日本ぷよ協会が上にガチッとあった頃とは違ってきていますね、それは確かに。

k a m e ぷよ界だけでなく、他タイトルのコミュニティとも連動していく方がいいと思います。情報交換にもなりますし、格ゲー業界は世界的な盛り上がりを見せています。ぷよぷよにも可能性は十分あると思っていますので。

————— プロ対戦格闘ゲーマーが続々出てきて、海外のマナーマッチで賞金を稼いで日本に帰ってくる。ラスベガスのエボリューションは羨ましいとしか・・・

k a m e 今年の海外大会、賞金は5千万とか6千万円くらいのものがあって。すごい。

ドラポン ぷよぷよでも、公式ツールを使った全国大会を開催して欲しいのですけど。

k a m e 競技ゲームとしてのぷよぷよを出す気が、セガからほとんど感じられないので、そこですよね。

————— 課金ゲームになって、お金が回っている筈なのですが。カーネル・サンダースがぷよぷよぬいぐるみを抱いて、ケンタッキーフライドチキンの店頭に立ったりしていますし。

k a m e キャラクターストーリーだけでなく、対戦をもっと盛り上げてくれればいいのですけど（笑）

ドラポン （笑）まあでも、公式は公式なりにやるべきことはやっているのかなと・・・

————— セガはセガでかなり苦労なさっているようですから、あまり強いことは言えないですよええ。

k a m e ぷよぷよ20周年のアニバーサリーツアーがありましたけど、個別イベントだけで決勝大会がなかった。それがあれば少し違っていたと思うのですが、でも20周年ツアーの影響で各地の対戦会参加者が増えたりもしましたから。

ドラポン ぷよ界は、もっと視野を広げて欲しいですね。僕が言える立場ではないですけど、視野を広げてぷよぷよに取り組んで欲しいと思う機会が多々ありますね。具体的にどこかって言われると、ぷよぷよに対しての練習方法だったり、学業だったり色々ありますが、一点に絞って見るというよりはもうちょっと俯瞰的に見た時に、新しい発見があるんじゃないかって思える人が結構いるので。様々な視点から見て、ぷよぷよやそれ以外への視野を広げて欲しいかなと考えています。僕自身もまだまだ、視野を広める試行錯誤中なので、また新しい視点でぷよぷよの発展を考えられたらいいなと考えています。

・2014年度アーケードぷよぷよ通S級リーグ

————— S級ぷよらー4名のうち、2名がなごやんぷよの会。ドラポン選手は昨年一昨年の西日本A級リーグで苦労して、今回西日本A級リーグで優勝しました。西日本A級の決勝、s c o t t i e V Sドラポン戦の日は私も試合開始1時間前までQ2にいたのですが・・・

ドラポン A級リーグが始まる1ヶ月くらい前までは、かなり勝算は薄いかなあと。でも、ぐっくるくんと対戦を重ねていく内に、“これはいけるのではないか”と思えるタイミングがいくつかあって。最初の頃は正直、自分自身がS級に出られるとは思っていなかったのですけど。

————— ぐっくるV Sドラポン戦はラスト1本までもつれ込みましたが、この時の心理状態はいかがでしたか？

ドラポン いや、あまり変わらないと言うか。スコアアタックの時もそうですけど、あまりそういう際にはプレッシャーを受けない人間なのかなっていう所はある気がして。理不尽なストレスには強いと思っています。

——— 最後の s c o t t i e 戦は、無観客試合だったのでしょうか？

ドラポン 日本ぷよ連盟から、かるきゅうくんが運営メンバーとして派遣されていました。それ以外にはいませんでしたね。運営側の意向で、決勝の日時は名古屋のメンバーにも非公開でやりました。ぐっくる戦はQ2杯の前日でしたので、ギャラリーがすごかったですけど。

——— s c o t t i e 戦の後半、“S級に上がれる！”と頭にもたげてきたのではないかと思いますけど・・・

ドラポン そちらの方のストレスはひしひしと感じました。それが本数にも現れたような気がします。終盤まで10本近くリードしていたのが最後に一気に連取されて、47対48で逆転されてしまって。根底では、自分がS級に上がれるとはまったく思っていなかったんですよ。自分の場合、自滅負けが多々発生するので。無駄に考えすぎて、根詰めすぎて、試合をダメにしてしまうのが自分の悪い所かなあとと思っています。

——— 最後は50-49で競り勝ってS級リーグ入りの切符を手に入れたわけですが、その時はどう思いましたか？

ドラポン うーん、そうですねえ（苦笑）S級のチケットを手に入れて、まあ・・・（苦笑）嬉しい、その反面無感情の部分も発生してましたね。

——— 周りの方には何か言われましたか？

ドラポン 言われました。具体的にパツとは思いませんけど、「まあ、頑張れよ」みたいな感じだったのではないかと。

——— ご家族の方は、S級リーグのことはご存じなののでしょうか？

ドラポン 知らないんじゃないかなあ？スコアアタックのことは知っていますけど、リーグ戦に関してはあまり。S級のプロモーションビデオも見せていませんし、家族からの心理的バックアップはありませんでした。

——— k a m e 選手は、2011年の初回S級リーグから継続参戦されておられます。S級開幕前はプロモーションで周囲が騒いだり連盟のサイトやニコニコ動画で“k a m e s t r y”の名前が載ったりするわけですが、そういう時に意識していることはありますか？

k a m e 実は自分自身は、2010年以降はモチベーションが年々低下してしまっていて。今年は、S級リーグには出場しない予定だったのです。

ドラポン 以前に少し言っていましたね。

k a m e 三連覇したm o m o k e nがS級を辞退すると聞いて、自分まで辞退するとS級の意味がなくなってしまうんじゃないかと。S級リーグの継続メンバーから自分が消えてm o m o k e nも消えたら、3人のうちA L Fしか残らなくなってしまう。S級リーグの本来の意味は最強を決めるためのもので、m o m o k e nの辞退を聞いて“今まで続けてきたリーグ戦をこのまま終わらせるわけにはいかないな”と。それで、自分が出場すると決めて。その少し後にm o m o k e nが「格付け戦には出ない」とツイートして、自分が出ないといけないなと言う気持ちが更に固まった感じです。そこからかなり気持ちが入って、腕も一気に戻せましたね。

————— S級リーグは3連勝で、見事全勝優勝を飾りました。過去のS級リーグでmomoken選手を最も苦しめたのは、kame選手だと思うのですが・・

kame よくわからない（苦笑）

ドラポン momokenさんは亀さんのスタイル相手だと、普段あまり対処しないタイプなので。

kame 対処できないプレイを自分がしているから、対応しづらいんじゃないかと。それで勝てないとは、自分は思っていないので。

ドラポン 亀さんは相手の調子を崩させるスタイルだと思います。

————— ドラポン選手、初参戦のS級リーグはいかがでしたか？

ドラポン いやもう、毎日がストレスとプレッシャーと(-w-;;;) いろんなストレスがあったんですよ、家庭なりプライベートなり、もちろんぶよぶよも。様々な方向からダメージを受けている時期だったので、とにかく苦しかったです。その中で“自分が何をできるか”っていうことを日々考えつつ、自分の役割を見せられていけたらいいなと強く感じました。いざ終わってみると悪い記憶は消え去っていて、良かったなあと。新しい自分自身を見付けるといえるのか、深い視点から自分を見つめ直すいい機会だったなと。今となってはそう思っています。次回以降、参戦できるかはわかりませんが、今後もS級リーグに参加できる機会があれば、次は是非とも優勝を狙いたいですね。

————— 100本先取ルールだったS級リーグは、2013年度以降は50本先取に変更となりました。これはおふたりにとってはプラスでしたでしょうか？

kame 僕にとってはプラス、どちらかと言うと。長期戦は体力を消耗するので。本数を減らしたのは参加者同士で相談した結果で、「100先をやる意味はあるのか？」と、真剣勝負の中で。100本先取は伝統的に続けてきた部分がすごく大きくて、昔100先を始めたのは本数が決まっていたわけではないんですよ。キリがいい数字という理由で100先が始まって、それが伝統的な方針になって。当時トップを張っていた、自分やALFやくまちょむが実施してきたというのはありますね。

ドラポン リーグ戦で、運の要素は排除できるので・・

kame リーグ戦の参戦者が増えて100先を消化する時間的な問題も出てきましたし、集中力を高い状態で維持するのが難しくなってきたこともあって、本数を減らしたという経緯があります。

ドラポン 50本先取だと終わった直後は物足りない気もなくはないですけども、様々な視点で考えると50先の方がいいのではないかと。時間とお金が許すなら、もっとじっくりやりたいなという気持ちはなくはないです。一対一の格付け戦だと、短い試合で自分が負けてしまうと物足りないなと思うことはあります。

————— kame選手は来期も周囲の期待を浴びることが予想されますが、いかがでしょう？

kame 次回も出場して、連覇を狙っていきます。

————— ミスケン世代がALF亀に絞られた感が強いですし、トップ戦線から退いたメンバーが揃って戻ってくるのは考えにくいですから・・

ドラポン 選ばれし黄金世代ですよ。

k a m e t o m くんとか m o m o k e n くんとか、 S q u i k a くんがまた戻ってきてくれたら嬉しいんですけど。

————— それだけ、私などでは想像もつかないプレッシャーが S 級リーグに。こればかりは当事者でないと・・・

ドラポン プレッシャーを受けすぎて体調を崩しましたね（苦笑）しっかり自己管理ができないとダメだということを痛感させられました。

————— ありとあらゆることを皆が神の視点で、これはきついでしょねえ。ニコ動ですと、試合開始直後に「かめ疲れてきたな」って字幕が（苦笑）

k a m e ハハハ！

ドラポン 謎すぎる、あれはひどい（笑）

k a m e まあそれで、盛り上がってくれるのであれば（笑）

————— 盛り上がり要素のひとつかもしれませんが、それにしてもお前ら鬼かと。

k a m e レッドブルのイベントでもネタで使われた！

ドラポン 亀さんの公式ネタになりつつありますよね（笑）

————— あのフレーズは、いつから定着し始めたのでしょうか？

ドラポン 以前の S 級リーグ 1 試合目の初コメントに、「かめ疲れてきたな」って字幕が・・・

2010 年の A L F 亀戦の頃にはあったのではないですか？

k a m e 自分が調子に波があって、連敗する癖があったんですよ。何かの試合でポイントを連取された時に誰かがニコ動でそのフレーズを流して、それから定着したんじゃないかと思います。誰が言い出したかは謎ですね。

————— ファンの皆さーん、もう少し優しく見てください！



・ぷより続ける意味

————— もし、おふたりがぷよぷよに出会わなかったとしたら、どんな人生を歩んでいたと思いますか？

ドラポン ・・想像もできないですけど、ものすごく平凡な生活を送っていた、若しくはこの世に自分がいなかったんじゃないかと思いますね。

————— そこまでですか！

ドラポン これは本当です。極論で言えばという所もありますが・・・ 僕自身、高校時代に、

大病を患った時期があつて。それ以外にも家庭環境的な意味で、口に出して言えないことも多いのですが、相当に辛辣な場面が多くて。その唯一の息抜きが、ぷよぷよと、そのコミュニティによるものだったので。これからも、ぷよぷよを通じた出会いを大切にしていきたいと思っています。

k a m e 僕はなんだろう？考えられないですけど、20年以上ずーっとぷよぷよをしてきましたし・・・（14秒沈黙）もしかしたらですけど、対戦格闘ゲームにハマっていたかもしれません。

————— 別の対戦ゲームをやっていた、ということでしょうか？

k a m e そうですね。スカイで格闘ゲームをやり続けていた可能性がありますね。ぷよぷよの前は格ゲーがメインでしたけど、ぷよぷよと出会ったところは並行してやっていました。それがある時期から、ぷよぷよが追い抜きましたので。

————— ぷよぷよ以外のパズルゲームよりも、格闘ゲームの方が優先順位が上ということでしょうか？

k a m e 格ゲーの方をやっていましたね。ただし対戦格闘だと全国大会とか、そういったものにはまったく出ていなかったの。その点ぷよぷよでは定期的に大会があつて、それが一番のモチベーションになったので、長く続けていられるのだと思いますね。

————— おふたりにとって、ぷよぷよというゲームはなんでしょう？

ドラポン 人生のルートを辿る上での新しい道、新しい可能性ですね。

k a m e 人生を共有する仲間です。

ドラポン なんかもう、欠かしては生きていけない感じですね。

k a m e ぷよらーみんなに言えるかもしれないですけど。

ドラポン 自分自身を形成するパーツですね。ひとつも切り離せないです。

————— 最後に、読者の皆さんにメッセージをおねがいします。

k a m e これからぷよぷよを始める方には、長く続けるコツとしては楽しんでやるが一番だと思ってくれると嬉しいですね。自分の好きなことを楽しんでやるのが、上達に繋がると思っています。

ドラポン 先に言われてしまった感じが・・・（苦笑）自分の場合だとそうですね、新たな一歩、新しい世界に踏み出すことを躊躇しないで欲しいですね。新しいことであってもどんどん取り組んで欲しいですし、ぷよぷよにしても別のことにしても・・・

k a m e 挑戦する気持ち？

ドラポン そうですね、挑戦する気持ちを忘れないで欲しいですね。

————— 長時間、本日はありがとうございました！

2015年5月9日（土） 19時45分～22時55分

於：名古屋JRセントラルタワーズ13階 “Maharaja”（愛知県名古屋市）

kamestry（亀山哲宏）

愛知県出身、愛知県在住。

旧全日本ぷよ協会公認ぷよ四段、日本ぷよ連盟理事。レッドブル5G2014ぷよぷよテトリス部門優勝、2014年度ぷよぷよ通S級リーグ優勝、2014年度BOXQ2マスタース大会総合優勝。

drapom

愛知県出身、愛知県在住。

2014年度ぷよぷよ通西日本A級リーグ優勝、同S級リーグ4位。アルカディア（エンターブレイン）認定アーケード版ぷよぷよ通スコアアタック全国1位。

追記：本インタビューの39日後に、GAME BOXQ2は10日後の閉店、運営会社変更、及び“GAME BOXQ3”として再スタートを発表。なごやんぷよの会は、活動一時休止を余儀なくされた。閉店アナウンス直後に緊急開催された第78回Q2杯は両なごやんS級と共に筆者も参戦したのだが、同大会は誰もが予想しない波乱の展開に・・・

（BOXQ2杯ファイナルの様子は、拙作あとがきをご参照ください）

「ニマンエンデス」

「ギャツツ！！！」

いやあ、驚いた。高騰してきたと聞いてはいたが、希少価値やら何やらでぷよ通基板も遂にそこまで上がったか。長い間四桁台で低迷していたのが近年の通好況で2万円台の大台を回復するとは、まるで近年の日経平均株価ではないか。（そんなものと比べるんじゃない）

2015年ゴールデンウィーク某日。電気街へ基板行脚に出掛けた私は3店舗でぷよぷよ通、そして初代ぷよぷよの基板在庫なしと言われていた。ぷよぷよSUN、ぷよぷよDA、ぷよぷよフィーバーは販売されており、旧作の初代ぷよぷよとぷよ通は品切れ状態を起こしていた。

当時私は2枚持っていたぷよぷよ通基板のうち1枚を破損し、手元には1枚しか残っていなかった。e t c . l i n kでアーケードぷよ通を練習するにはマイ基板を持ち込み帰宅時に引き揚げなければならない、自分が滞在している時以外は同店ではAC通が使えなかった。4店舗目であろうやく在庫ありと言われたのだが、そこで言い渡されたのが冒頭の一言である。値下げ交渉の余地はあったかもしれないが、万一「じゃあ売らない」などと言われたら大変なことになる。私にできたのは先方の言い値を丸呑みし、福沢諭吉2枚に別れを告げることであった。

私は2001年に初めてぷよぷよ通の基板及びボードマスターを購入したのだが、当時は通基板の価格がもっとも下落していた時期であった。当時の相場は、せいぜい一枚1,500円から2,500円程度。基板屋の“アキバトライ”で自宅練習用のボードマスター（4万円くらい）を購入したら、ぷよぷよ通は無料でおまけしてくれたくらいだ。想像だが、当時はインカム不足やら店舗閉鎖やらで使用していないぷよ通基板の在庫がダブついており、市場価値はほとんどゼロに近かったものと思われる。

あれから14年。ぷよぷよ通はガチ勢の対戦ツールとして定着し続け、経年による破損や廃棄などの事情により市場価格は徐々に上がり続けている。エミュレータやVCA版ぷよ通の登場で歯止めがかかるかと思っていたが、私の知る限り希少価値低下には繋がっていないようである。1万円台を回復した数年前は「（ふーん、まあいいことだよな）」くらいにしか思っていなかったのだが、2万円に達するのは予想以上に早かった。ここから再び値下がりに転じるとは考えにくいから、近い将来に3万円5万円、果ては10万円を突破する日が来るかもしれない。

近年、レトロゲーム基板は国外にも多数流出し、国内での入手は日を追うごとに厳しくなっている。少ない牌の奪い合いはいかなる結末を迎えるか、打開策はもたらされるのか。見通しは明るいとは言えないが、末端当事者のひとりとして今後も注視を続けていかねばなるまい。

アーケード版ぷよぷよ通 現在の課題

- 頂点層の極限化、新規参入の障壁
- 使用機材老朽化、ぷよ通基板価格高騰
- アーケード業界全体の慢性的苦境、
ぷよぷよ対戦台稼働店の閉店相次ぐ
- ネット対戦ができない＆正統続編が
20年経ってもリリースされない！

(おい**セガ**、なんとかしろコラー！！) 

コンテンツ文化史学会2014年大会@東海大学高輪キャンパス。2014年11月23日。

(ここから先は余談)

マイぷよ通基板を外部に貸し出したことが過去にございましたが、何枚かは店舗閉鎖などの理由で戻ってきませんでした。また、閉店した店舗から基板救出を目論んだことも何度かございましたが、回収例は決して多くありません。借りパクされた基板を返せなどと今さら野暮なことは申しませんが、せめてどなたかの手元で有効活用されていることを願うばかりでございます。

近年出回っているエミュレータ基板にぷよ通が入っていることもございますが、こちらは工場出荷設定でしか遊べません。すなわちボタン設定逆（右ボタンが左回転、左ボタンが右回転）、スコア保存不可でございます。最終的には、（↑）としか申し上げようがございません。

2015年6月18日。

GAME BOX Q 2が、公式ブログ及びツイッターにて10日後の閉店、そして7月から運営会社を変更し“GAME BOX Q 3”として再営業を開始するとアナウンスした。Q 2の運営が苦しくなっていたのは1年ほど前からQ 2自身も認めていたが、他の老舗店舗たちと同様に巻き返しはやはり厳しかったということだろう。

これに伴い、なごやんぷよの会は7月に予定していた第78回———奇数月の隔月開催だから、13年間継続して実施していたことになる———Q 2杯の日程変更を決定。予定日を大幅に繰り上げ、発表2日後の6月20日に“BOX Q 2杯ファイナル”と銘打った大会を開催すると発表した。

前述のとおり私は5月初旬にQ 2へおじゃましており、またQ 2閉店アナウンス直前の週末は横浜へ帰省し金銭を少なからず浪費していたため、しばらくの間遠征はしないつもりだった。しかしながらQ 2最終日は仕事のため名古屋へは行けないこと、また5月のQ 2杯は不完全燃焼に終わっていたこともあり、週末予定を急遽名古屋行きに変更。20日は早起きし、金沢駅から特急しらさぎ号にて単身名古屋へ直行した。

13時ごろにBOX Q 2着。既に対戦は始まっていたため私も野試合に加わったのだが、ランクは予想以上で自滅負けを連発した。速度感覚のズレがひどく、「（マズい、こりゃ2連敗の即敗退もあるな）」と覚悟せざるを得なかった。Q 2杯ファイナルは中京地区のS級及びA級ぶよらーが揃い踏みで、私自身、ここまでハイレベルメンバーの大会に出るのは久々だった。2敗失格トーナメントルール、出場者31名のうち30名がなごやん勢、外部参加者はIPS勢の私のみ。戦力差は実に30分の一、気分は地球連邦に独立戦争を挑むギレン総帥であった。

事前調整に不安を抱えた状態での出場だったが、予測に反し予選1～3回戦は2-0のストレート勝利。2回戦で5月大会優勝者のもこ選手を撃破、4回戦（対ふっしー戦。ここから3本先取に変更）は1-2から連取で逆転勝ちを収め、ウィナーズ決勝進出を果たした。

本命と思われた両S級は意外にも勝ち切れず、私と当たる前に2敗目を喫し脱落。望外の展開に気が緩んだか、ウィナーズ決勝（対NAS戦）は全体的に押されっぱなしとなり、1-3で完敗。決勝進出に待ったをかけられた私はルーザーズ決勝に回り、敗者復活戦の勝ち上がり者と対決することとなった。

ルーザーズ決勝、対ぐっくる戦は奇跡だった。中盤戦で太刀打ちできず開始早々に2本連取され、その場にいた誰もがぐっくる快勝、横えび惨敗を予測したはずだった。ところが苦し紛れに受け潰し&本線主体へ切り替えた私の作戦が的中し、配色に恵まれたこともありそこから逆3タテで逆転勝利。敗れたぐっくる選手には申し訳なかったが、まさかの決勝進出に現実感が湧かず、その場で手を叩いて笑い出してしまった。

Q 2 杯の決勝戦は 5 本先取。全勝勝ち上がりの N A S 選手は一度勝てば優勝、敗者勝ち上がりの私は 5 本マッチを連勝する必要があった。私はもちろん N A S 選手も初の Q 2 杯の決勝進出であり、技術とプレッシャーがないまぜの状態最後の戦いに挑むこととなった。

1 セット目は緊張からか N A S 選手の手が伸びず 5 - 1 で私の快勝、調子に乗った私は「どーだ！！石川が最強だオラー！」と叫んだ。観戦していたなごやん勢から悲鳴が上がり、2 P 側の N A S 応援団は半ばお通夜状態と化していた。アウエーの洗礼を浴びたことは今までに何度もあったが、ここまでの大ヒールを演じたのは初の経験であった。最後の Q 2 杯を石川からの刺客、それも 3 8 歳のオッサンに奪われるとは、1 時間前までは誰も想像していなかったに違いない。

この勢いを最後まで保持できれば良かったのかもしれないが、私もここから徐々におかしくなり始めた。2 セット目、すなわち最終決戦は相手の先撃ちを咎め損ないまくり、ちぐはぐな手順を連発。両眼の焦点が徐々にボヤけ始め、両手はカタカタと震えが止まらず、ラスト Q 2 杯のプレッシャーが心身を強烈に揺さぶり始めた。

オカルトじみた話で恐縮だが、最後の 5 本先取、特に 3 - 3 からの野試合は、なごやんぷよの歴史と伝統、そしてプライドと戦っているかのような錯覚に苛まれた。周囲の雑音はいつしか何も聞こえなくなり、目の前のぷよ通筐体がうねり出す騒音、そして自身の鼓動音だけが我が両耳をつんざき続けていた。

最終的には自滅に近い形で私は敗れ、店内の盛り上がりは最高潮に達した。私が天を仰いだ瞬間、その場に居合わせた某若手選手のツイートを借りれば、「もう胴上げが始まるんじゃないかっていう勢いで盛り上がってた」。Q 2 ぷよ史の掉尾に泥を塗らんとする我が野望は最後の最後で潰えてしまったが、なごやんぷよの会的にはこれでよかったのかもしれない。

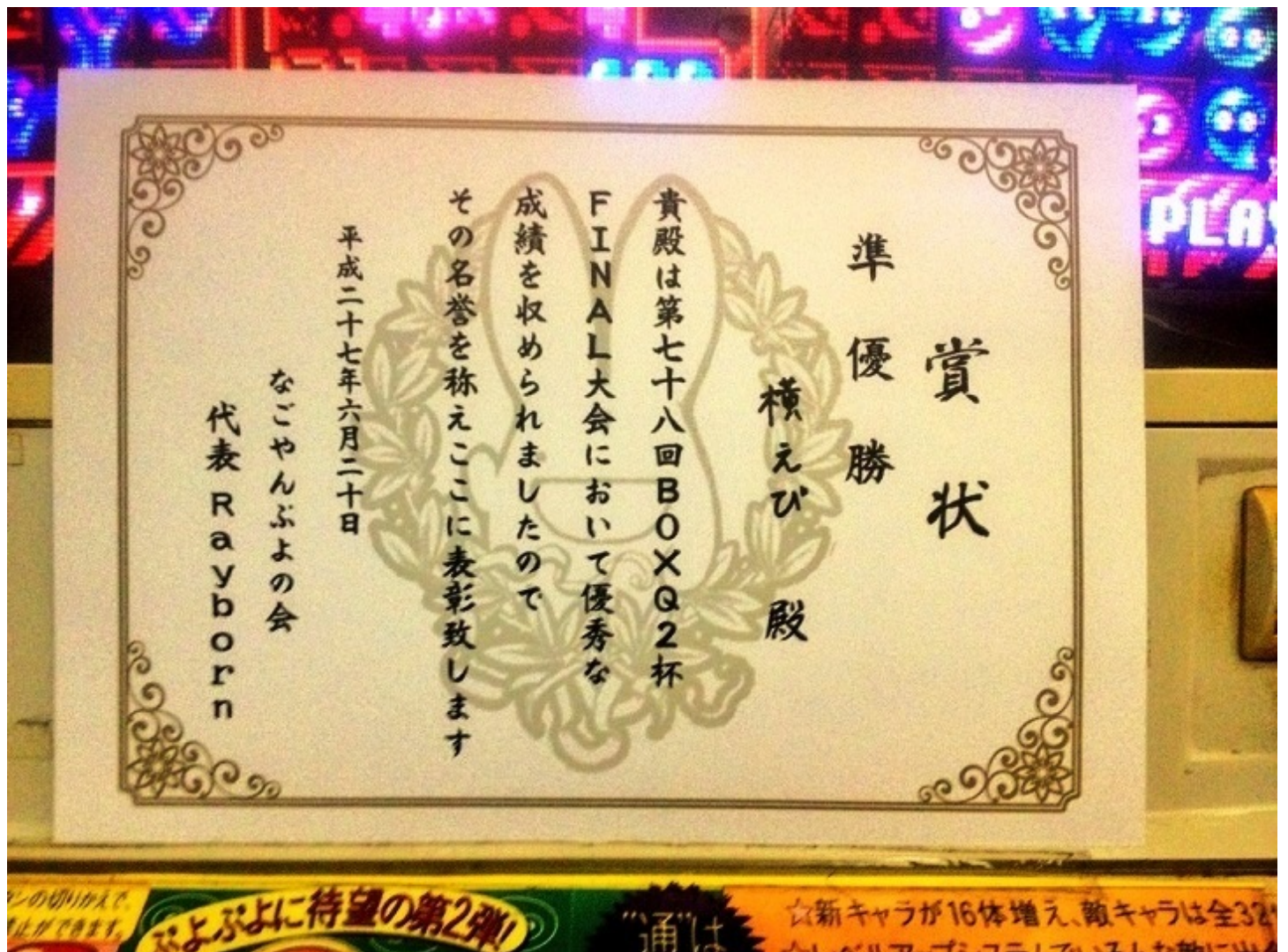
「アーケードぷよ通大会の決勝は今まで 8 戦全勝中でしたが！

2 2 年目にして本日初めて！！ 負けてしまいました！

ラスト Q 2 杯で準優勝、嬉しいけど悔しい！！ 以上です！！」

表彰式。コメントを求められた私はひとしきり喚いた後、準優勝の賞状を神妙に受け取った。表彰されるところまで勝ち上がれるとは予想していなかったため鞆や手提げ袋の類を全部宿舎に置いてきてしまい、賞状を素手で持ち帰るハメになった。

大会終了後の野試合では再びボロボロにされ、2 4 時の閉店後は 7 名で 2 時間半ほど夕飯 & ぷよ談義。横浜や石川と同様、愛知県も対戦台稼働店を喪失しただけで人がいなくなったわけではない。我々はこの程度の逆境には慣れっ子になっており、ビハインドを跳ね返すためのノウハウは充分に蓄積されている。なごやんぷよの会は既に 7 月以降、新生 B O X Q 3 へ向け動き出していたことは特筆しておきたい。



久々のぷよ電書新作、いかがでしたでしょうか？前作及び前々作の制作時は「（最低でも1年に一冊は・・・）」などと思いつつ、本作の完成には4年を要してしまいました。根気よくお待ちいただきました皆様、この場を借りて感謝申し上げます。

皆さまもご存じのとおり今年3月には北陸新幹線が開通し、首都圏と金沢との移動時間は半分に短縮されました。石川をぷよぷよで染める会は来年設立20周年を迎えます、今後も定期的に各種発信を行う所存です。それではまたいつか、次回作にて！

2015年10月8日

横えび

京都府出身、石川県在住。独身。

旧全日本ぷよ協会公認ぷよ3級、現役最古参ぷよらー。最年長a-c h oぷよ通大会覇者、最年長110万スコアラー、最年長BOXQ2杯ファイナリスト。バイパスレジャーランド藤江対戦会代表。

(※ 重複を避けるため、過去の作品に掲載済の用語は省略しております。ご了承ください)

●序文

- ・ d r a p o m くんとのリターンマッチ

敗者組決勝戦（ひさ対 d r a p o m）を観戦中の横えび氏、「ひささん頑張れー！オラー d r a p o m 負けちまえー！！」とヤジを飛ばし、スタッフにつまみ出される。同大会の動画は、[こちら](#)をご参照されたし。

- ・ a - c h o 大会の最年長優勝記録

それまでは、しろま（白い悪魔）会長が保持していた。

●m o m o k e n 被害者の会

- ・ じゃんけん決着

過去にセガ主催のタッグマッチ大会で、じゃんけん決着が何度か発生している。時間で切るのは仕方ないにしても、得点の多寡か何かで決める方がまだマシのような・・

●聖地のいちばん長い日

- ・ 火事及び水没騒ぎ

前者は 1 9 9 8 年、後者は 2 0 0 4 年に発生。いずれも営業停止を余儀なくされ、復旧に時間を要した。

- ・ 給与遅配及び集団解雇

私の知る限り遅くとも 2 0 0 0 年頃には給与遅配が発生し、時給の高い女性アルバイト店員は 1 9 9 8 年に全員解雇されていた。おねいさん店員によるお菓子やドリンクサービスは一転して野郎店員の仕事となり、心底がっかりしたのは悲しい思い出である。

- ・ 金沢駅からはくたか号で越後湯沢へ、越後湯沢から上越新幹線に乗り換え

北陸新幹線はまだ開通していなかったため、特急はくたかで越後湯沢に出る必要があった。

- ・ かつての五番街ゲーセン

パラダイスアレイ及びアメリカングラフティではぷよ通対戦台が、タクトランドではぷよ S U N 対戦台が稼働していた時期があった。

- ・ 新横浜から東海道新幹線で米原へ、米原からしらさぎ号の最終便

越後湯沢コースより 3 千円ほど高い。

●敗北の味

- ・ チャンス笹口の前を通り過ぎ、笹口小学校へ毎日通っていた

ただし昭和末期当時は、“チャンス笹口”なるお店（というか、建物）はまだなかったと思われるが・・（求む情報！）

- ・予選突破の可能性が～

同リーグはp l u c k ・ S T R ・ 横えびの3者が3勝1敗となったが、得失点差で横えびがまず脱落。予備予選でp l u c k 選手がS T R 選手を撃破し、決勝進出を果たした。

- ・今年2月の大会

新潟初戴冠に至る自戦記は[こちら](#)、同大会の動画は[こちら](#)をご参照ください。

●パズルゲームは苦手？

- ・ハードモードでないと全一スコアを狙えなかった

初代対戦ぱずるだま及びときめきメモリアル対戦ぱずるだまは、ハードモードの得点計算は他モードの10倍に設定されている。当時の横えびくんは貧乏だったため、進め！対戦ぱずるだまは通常モードのテストプレイを行わなかった。

●ヘルシング風にぷよぷよを語る。（前編）

- ・普段の戦法ではないんだな

アーケード版ぷよぷよS U Nは、ぷよ通のそれよりバランスが悪・・・ ショートレンジ連鎖の威力が強い。そのため開始早々に3連鎖程度を送り合い、その後太陽ぷよを絡めた殴り合いに発展する確率が高い。

●ぷよらーはバーにいる

- ・無料でプレイできるようになった

厳密には完全無料ではなく、ドリンクを最低でも一杯は注文する必要あり。逆に言えば、ソフトドリンク一杯で10時間以上無料でアーケードぷよ通を遊び倒すことが可能。

●ぷよらーインタビュー第6回（前編）

- ・F A L くん

旧全日本ぷよ協会三段、なごやんぷよの会初代代表。

- ・1面で失敗したと聞きましたが（笑）

ぷよ通スコアアタックは1面で失敗すると2面以降の全ステージ難易度が上がるため、自己ベスト更新はほぼ不可能になる。そのため、フリープレイ筐体で1面に失敗した場合は、即捨てゲー（次で自殺しやり直し）を選ぶスコアラーが多い。

- ・だいぶ独特ですよ。

しろま会長のスコアアタックは、3面以降はほぼ100%の確率で挟み込み折り返しである。階段積みを使うのは4色面のみで、5色面ではまったくと言っていいほど使わない。黎明期は挟み込みを使用するスコアラーは少なくなかったが現代では少数派、と言うより絶滅危惧種に近い状態になっている。

- ・初中級者対戦会とは知らずに乱入してしまいまして（笑）

なごやんぷよの会初中級者対戦会はアーケードぷよ通仕様に不慣れな参加者が多く、文字どおりの初中級者は（筆者が見る限り）それほど多くない。

- ・ eスポーツM a X

東京MXテレビが2014年10月に開始したeスポーツ専門番組。ぷよぷよ部門では、[マスターくまちょむに挑戦者が4本先取を挑む](#)。

- ・ オードリーさん、ぜひ会って欲しい人がいるんです！
eスポーツM a Xと同様に、[YouTubeにて視聴可能](#)。

●くじ引きと同士討ち

- ・ 2013年6月a - c h o大会

同大会は、4試合中3試合は対A級以上（d r a p o m、k u r o r o、s c o t t i e）であった。

●セルバ杯狂騒曲

- ・ それまでのドタバタが嘘のように暇になってしまった
一般参加者の方が予想以上に少なかったのも一因で・・・ 宣伝は難しい！

- ・ 東北ぷよサースタッフに死体として哀れ会場外へ担ぎ出された

台本へ忠実に進行したとはいえ、男女を問わずかなり雑に扱われているのは涙を誘う。（詳細は、セルバ杯動画を参照のこと）

●河口俊彦風にスコアアタックを語る。

- ・ 録画するという発想自体が希薄だった

第1回及び第2回全日本ぷよマスタース大会公式ビデオでは、他試合動画の使い回しが頻発。1997年によく生試合へ統一された。（まったくもう・・・）

- ・ パシオン時代

1997年当時の横えびくんはお金がなく、横浜～名古屋間はすべて鈍行もしくは快速電車で移動した。

●ENQUETE NETWORK

- ・ 2011年7月に配信開始した有料版

完成当初は一部200円の対面配信で、電書イベントなどで販売した。（全部で200部弱ほど売れただろうか？）

- ・ 開発ペースが順調なら1年後。（白い悪魔）

本回答から3年半後の2015年9月に、しろま会長VS最強ぷよ通A I “m a y a h”のぷよぷよ通1,000本先取企画が実施された。結果は1,000対843にて白い悪魔勝利、自らの手で予想を覆すこととなった。

●アカデミック・シーズン

- ・ 質疑応答を含め30分

I P S発表の質疑ではひとり目の方に「何故しろま会長に勝てないのですか？」なる直球質問を頂戴し、10秒ほど固まってしまった。

●12年と21年と村の旦那と

- ・100万を突破してから1ヶ月で110万に到達しましたとか、100万点台から110を飛び越して120万点台を達成しましたとか

ちなみに前者はd e l t a選手、後者はk a m e s t r y & ぶくま選手である。

- ・CKNさん

若い頃は“CKN式”と呼ばれる独特の階段折り返しを1面で駆使していたが、現在はオーソドックスなk e n n y 式に転向してしまった。往時を知る身としては少し寂しい。

●ぷよらーインタビュー第6回（中編）

- ・49対49までもつれ込みました

ガチ勢同士の50本先取戦では、最後の1本勝負にもつれ込む確率は割と高い。（筆者は過去に3回あり、2勝1敗）

- ・HIROさんとアルカディア全国1位レース

アルカディアの誌面スコア集計終了に伴い発生した、ぷよぷよ通全一争い。d r a p o m（BOXQ2にて144万）がHIRO（蕨デイトナIIIにて139万）を破り、ぷよ通スコア全一を獲得。（※ 拙作公開半日後の2015年10月11日にHIRO選手が蕨デイトナIIIにて自己ベスト更新、142万突破！・・・の2日後、急病で入院するハメに。嗚呼スコア道は地獄道）

- ・運動はふだん・・・

d r a p o m & k a m e s t r y の両者は、自宅からBOXQ2までは自転車移動である。両チャンプに限らず、なごやんぷよらーは自転車勢が多い。

- ・お茶県選手

インタビュー2ヶ月前の、チャンス笹口大会ベスト8にて私と激突。

- ・じゃじゃーん菊池

元・吉本興業のお笑いコンビこと、ノンスモーキンの菊池大助さん（前作のアンケートネットワークにも登場）と同一人物。本インタビューの3ヶ月後にノンスモーキンを解散し吉本興業を退職、ピン芸人ならぬ[ピンYouTuber](#)に転身を果たした。

- ・喫茶マウンテン

名古屋のB級グルメ、というより日本のB級グルメを代表する有名店。

●進撃のアラフォー

- ・体重は自己ワーストを更新し

学生時代は50キロ台だったのが、今年は危うく70キロ台へ到達しそうになった。危ない危ない・・・

- ・十代の大会戦績

1995及び96年に出場したアーケードぷよ通大会は、すべて（当時全国最強の）ゲームinnナミキ明大前グランプリだった。当時の戦績がよくないのは、多少割り引いて考える方がいいかもしれない。

●ヘルシング風にぷよぷよを語る。（後編）

- ・私は帰らねばならぬ

我が職場からバイパスレジャーランド藤江は、同じ石川県ながら片道2時間以上かかる。

●ノー・サンプリング

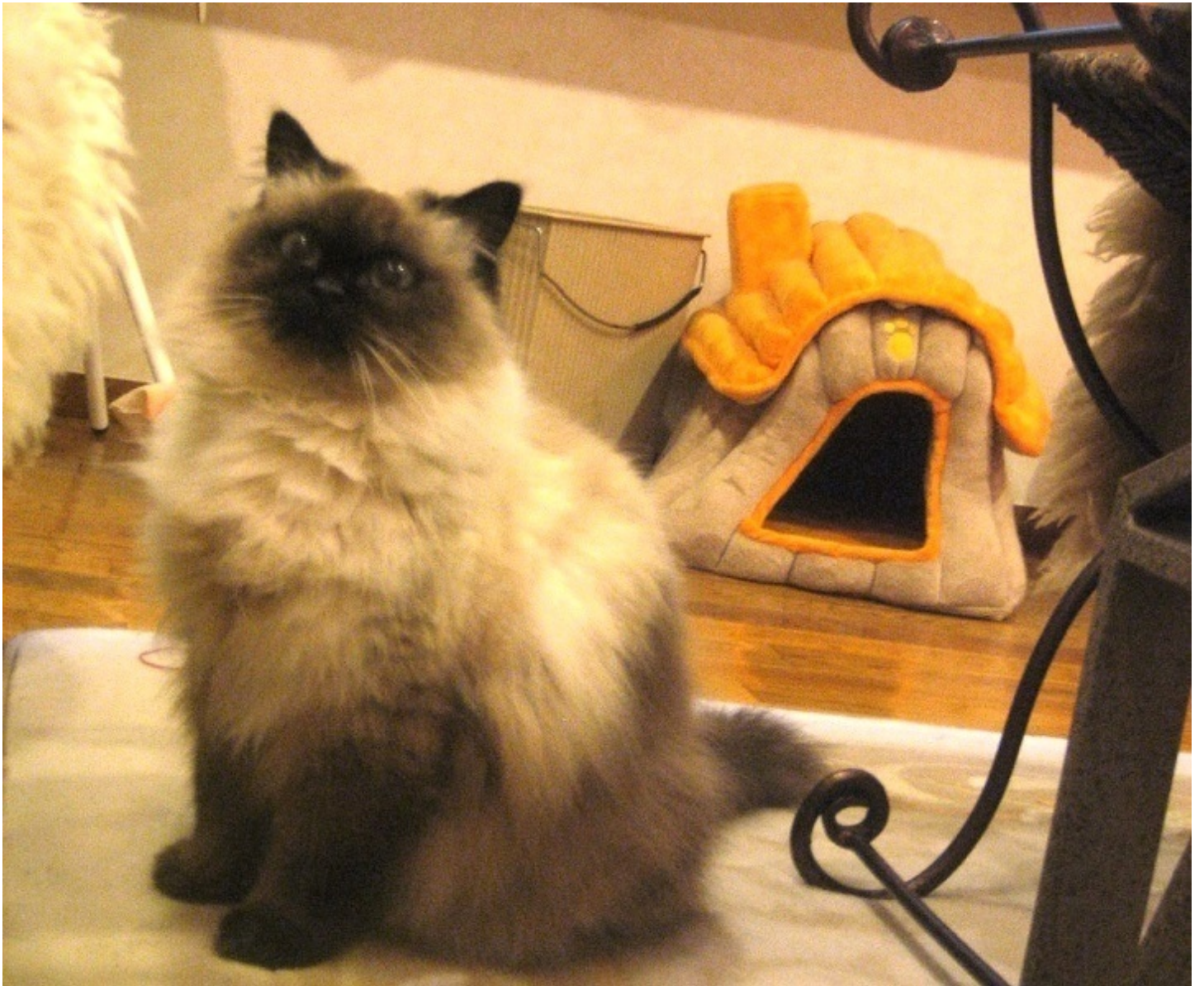
- ・凝視力が足りていない私は連鎖音声でカバーする

1 P側でプレイしている時はひとぷよ対戦を問わず、敵の単発音声聞こえない。そのため、ガチ勢同士の対戦は2 P側がわずかに有利なのではないかと思っている。

●辛口必勝法

- ・出だしが2手全消しの場合～

こればかりは、momokenを100人くらい連れてこないとどうしようもありません。素直に諦めましょう。



●ぷよらーインタビュー第6回（後編）

- ・私も試合開始1時間前までQ2にいた

その日に西日本A級決勝が開催されるとは知らなかった。かるきゅう選手が予告なしに現れたのには驚いたが、石川方面の終電時刻が迫っていたため、A級決勝の生観戦は断念せざるを得なかった。

- ・かるきゅうくん

通称“マットマウスの姫”、2014年S級リーグ運営長、2015年東日本A級リーグ出場。チャンス笹口大会決勝にて私と激突。

- ・S級のプロモーションビデオ

詳細は[こちら](#)。ぷよぷよを知らない方も必見！！

- ・連覇を狙っていきます

後日、kamestry選手は第5回S級リーグをもってリーグ戦から一時辞退を表明した。そのため、次回S級リーグが最後の参戦になる可能性がある。

- ・Maharaja

ミスケンインタビューに続き、エスニック料理店でのインタビューとなった。今回は別系統の店舗を考えていたのだが、とある理由で結果的に連投となった。

●基板の値段

- ・閉店した店舗から基板救出

理想は筐体（対戦台）ごとの救出である。が！運搬コストが跳ね上がること、また私ひとりではメンテナンスを行えないため破損後は巨大な鉄屑と化すことを考えると、二の足を踏まざるを得ない。

- ・エミュレータ基板

アレは純正品なのでしょうか？詳しい方は弊社までご一報を！

●あとがき BOX Q2杯ファイナル

- ・Q2杯の日程変更

そのためか録画は行われず、なごやんポイントランキングの対象外となった。もし録画が行われたとしたら委縮して手が伸びず、途中敗退は免れなかったのではないかと思う。

- ・ルーザーズ

もこ選手は敗者戦を勝ち上がりルーザーズ準決勝でぐっくる選手と対決、最終的には4位入賞となった。従ってQ2杯ファイナルは、私はベスト4メンバー全員と戦ったことになる。

キャスト

●作者兼インタビュアー

横えび

●インタビューぶよらー

k a m e s t r y (亀山哲宏)

d r a p o m

●製作協力

アンケートにご協力頂いた皆さん

石川をぷよぷよで染める会

お茶県

お茶の町

しずぷよ

じゃじゃーん菊池

右脳式ぷよぷよルーム

ミスケン

m o k a _ m s s

横えび実家 C A T S

(五十音順・敬称略)

読者アンケート ご協力のおねがい。

読者の皆さまに、アンケートへのご協力をおねがいたします。以下の各質問につきまして、可能な範囲で筆者までご意見をお寄せいただければ幸いです。

（回答方法は、質問１０の下をご参照ください）

質問１． 本作の中で面白い（もしくは、役に立った）と感じた記事の数字を、下記の中から３点選んでください。ただしぷよらーインタビュー第６回（０８．、１５．、２０．）は、前中後編の中から１点だけ選んでください。（回答例： ０１．、１５．、１７．）

- | | |
|-------------------------|-------------------------|
| ０１． 序文 ３５歳はあきらめない | ０２． momoken被害者の会 |
| ０３． 聖地のいちばん長い日 | ０４． 敗北の味 |
| ０５． パズルゲームは苦手？ | ０６． ヘルシング風にぷよぷよを語る。（前編） |
| ０７． ぷよらーはバーにいる | ０８． ぷよらーインタビュー第６回（前編） |
| ０９． くじ引きと同士討ち | １０． セルバ杯狂騒曲 |
| １１． 河口俊彦風にスコアアタックを語る。 | １２． ENQUETE NETWORK |
| １３． アカデミック・シーズン | １４． １２年と２１年と村の旦那と |
| １５． ぷよらーインタビュー第６回（中編） | １６． 進撃のアラフォー |
| １７． ヘルシング風にぷよぷよを語る。（後編） | １８． ノー・サンプリング |
| １９． 辛口必勝法 | ２０． ぷよらーインタビュー第６回（後編） |
| ２１． 基板の値段 | ２２． あとがき BOXQ２杯ファイナル |
| ２３． ぷよぷ用語集 | ２４． キャスト |

質問２． 本作を起動した端末は、下記の中のどれでしょうか？（複数回答可）

- | | |
|---------------|----------------------|
| ０１． デスクトップＰＣ | ０２． タブレットＰＣ |
| ０３． スマートフォン | ０４． iPad |
| ０５． アマゾン・キンドル | ０６． その他（具体的にご記載ください） |

質問３． 本作を再生したフォーマットは、下記の中のどれでしょうか？（複数回答可）

- | | | |
|-------------|-----------|----------|
| ０１． e P u b | ０２． P D F | ０３． ブラウザ |
|-------------|-----------|----------|

質問4. 次回作に収録するインタビューを一度だけ実施するとしたら、誰に行くべきだと思いますか？（日本国内限定、最大ふたりまで）希望する理由も添えていただけると嬉しいです。

質問5. もし、アーケード版ぷよぷよ通の製作者にインタビューを実施することになったとしたら、どんなことを聞きたいですか？（複数回答可）

質問6. あなたは、ぷよぷよクエストはプレイしていますか？

- | | |
|-----------------------|-------------------|
| 01. 課金してプレイしている | 02. 無課金でプレイしている |
| 03. 以前プレイしていたが今はやってない | 04. 一度もプレイしたことはない |

質問7. 次回作にて採り上げる対戦拠点、大学サークル、その他各種ぷよぷよ団体があるとしたら、どこがお勧めでしょうか？（日本国内限定、最大2箇所まで）お勧めする理由も添えていただけると嬉しいです。

質問8. 間もなく、第5回アーケードぷよぷよ通S級リーグが開幕します。今年はズバリ誰が優勝すると予想しますか？

質問9. IPS（石川をぷよぷよで染める会）は、2016年9月にぷよぷよ団体としては史上初の設立20周年を迎えます。記念に何をやるべきでしょうか？

質問10. お気付きになった点、次回作へのご提案、登場人物へのメッセージ、ダメ出しその他諸々で何かございましたら、ご記載をおねがいします。

ご一読いただきありがとうございます。恐れ入りますが、回答結果は[筆者のサイト](#)、もしくは[筆者のツイッター](#)、もしくは筆者のメールアドレス（pyokoebi@gmail.com）にお寄せいただければ幸いです。

（集計結果の一部は、次回作にて公表させていただきます）



k a m e 後から思い出してみたら、なんかたぶん他にも・・

ドラポン 異聞的なことを、もっと話すべきことがたくさんあるんじゃないかと。

k a m e 全然言葉が足りてないと思っているのですが。

ドラポン もう一回インタビューをやって欲しいくらいですね（笑）

——— もう一回！死んじゃう、聞き手が死んじゃう！　・・おふたりはきっと他の方からお話を伺う機会が、1～2年後にもっと高いスコアを出したり大きな大会で優勝したりしたら、もっと違う考えが出てくるかもしれませんから。

k a m e レッドブルで優勝したら、インタビューがたくさん来るから（笑）

ドラポン 僕は24時間耐久なんてできないですよ、無理無理！（笑）よくあんなことができるなあと、“ぷよ時間テレビ”を見ながら思いました。尋常じゃないです。

ぶよぶよ 2012～2015

kame-story, drapom's drama

<http://p.booklog.jp/book/99056>

著者：横えび

著者プロフィール：<http://p.booklog.jp/users/yokoebi2424/profile>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/99056>

ブックログ本棚へ入れる

<http://booklog.jp/item/3/99056>

電子書籍プラットフォーム：ブックログのパバー (<http://p.booklog.jp/>)

運営会社：株式会社ブックログ